

厚生労働省 委託事業

令和4年度 仕事と育児の両立等に関する実態把握のための調査研究事業

労働者調査 結果の概要

令和5年3月

株式会社 日本能率協会総合研究所



目次

I. 労働者調査の調査概要	3		15
1. 調査実施概要等	3	(3) 末子の育児に関して、両立支援制度利用状況<男性(正社員・職員以外)>	15
	3	(4) 末子の育児に関して、両立支援制度利用状況<女性(正社員・職員以外)>	16
II. 労働者調査【離職経験なし】の結果概要	4		
1. 回答者の概要及び仕事の状況	4	(5) 育児のための短時間勤務制度の利用期間について	
(1) 年齢	4	①会社で利用可能な最長期間	17
(2) 子どもの人数	4	(6) 育児のための短時間勤務制度の利用期間について	
(3) 末子の年齢	4	②実際に利用した期間(利用する予定の期間)	17
(4) 末子妊娠判明当時の就労継続希望	4	(7) 「育児のための短時間勤務制度」利用時の1日の勤務時間	18
2. 仕事と育児の両立のあり方に関する希望と実際	4	(8) 「育児のための短時間勤務制度」利用途中で勤務時間を変更したことがあるか	18
(1) 末子の年齢別にみた、仕事と育児の両立のあり方<男性(正社員・職員)>	5	(9) 育児のための短時間勤務制度を利用する理由	19
(2) 末子の年齢別にみた、仕事と育児の両立のあり方<女性(正社員・職員)>	5	(10) 育児のための短時間勤務制度を利用しなかった理由	20
(3) 末子の年齢別にみた、仕事と育児の両立のあり方<男性(正社員・職員以外)>	6	(11) 所定外労働の制限(残業を免除する制度)の利用期間について	
(4) 末子の年齢別にみた、仕事と育児の両立のあり方<女性(正社員・職員以外)>	7	①会社で利用可能な最長期間	21
3. 育児のための休暇・休業について	7	(12) 所定外労働の制限(残業を免除する制度)の利用期間について	
(1) 育児休業制度に関する法改正の内容認知	8	②実際に利用した期間(利用する予定の期間)	21
(①個別の制度周知・休業取得意向確認と雇用環境整備の措置)	9	(13) 所定外労働の制限(残業を免除する制度)を利用しなかった理由	22
(2) 育児休業制度に関する法改正の内容認知	9	(14) 復職後、育児のための短時間勤務制度や所定外労働の制限の利用時に感じた不安	23
(②有期雇用労働者の育児・介護休業取得要件の緩和)	9	(15) 育児のための短時間勤務制度や所定外労働の制限利用後の働き方の変化	24
(3) 育児休業制度に関する法改正の内容認知	9	III. 労働者調査【離職経験あり】の結果概要	25
(③出生時育児休業(産後パパ育休)の開始)	9	(1) 年齢	25
(4) 育児休業制度に関する法改正の内容認知	10	(2) 子どもの人数	25
(④育児休業の分割取得)	10	(3) 末子の年齢	25
(5) 育児休業制度に関する法改正の内容認知	10	(4) 妊娠・出産、子の育児等を理由とした離職時期	25
(⑤育児休業取得状況の公表の義務化)	11	(5) 約10年以内の妊娠・出産、子の育児等を理由とした離職時期	26
(6) 末子の育児に関して、育児休業制度を取得しなかった理由	12	(6) 子の妊娠判明当時の就労継続希望	26
4. 両立支援制度の利用状況・現在の働き方・将来の働き方について	13	(7) 妊娠・出産・育児を機に離職したことの後悔の有無	27
(1) 末子の育児に関して、両立支援制度利用状況<男性(正社員・職員)>	13	(8) 利用すれば仕事を続けられたと思う支援・サービス	27
(2) 末子の育児に関して、両立支援制度利用状況<女性(正社員・職員)>	14	2. 仕事と育児の両立のあり方に関する希望と実際	28
	14	(1) 子の年齢別にみた、離職当時の仕事と育児の両立のあり方	
		<女性(離職前正社員・職員)>	28

(2) 子の年齢別にみた、離職当時の仕事と育児の両立のあり方 <女性(離職前正社員・職員以外)>	29
3. 育児のための休暇・休業について	30
(1) 離職当時の子に関して、休暇・休業制度利用状況 <女性(離職前正社員・職員)>	30
(2) 離職当時の子に関して、休暇・休業制度利用状況 <女性(離職前正社員・職員以外)>	31
(3) 離職当時の子に関して、育児休業制度を取得しなかった理由	32

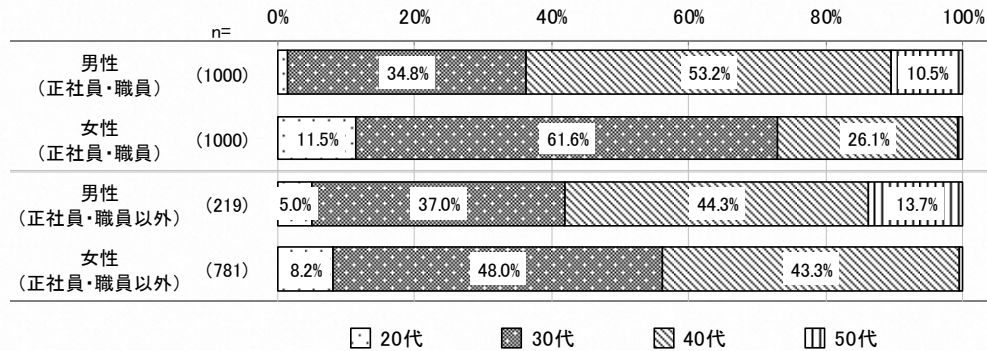
1. 調査実施概要等

<p>調査目的</p>	<p>育児のために離職をした経験の有無を基に、以下を把握することを目的に実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○回答者の概要及び仕事の状況 ○仕事と育児の両立のあり方に関する希望と実際 ○育児のための休暇・休業について ○両立支援制度（育児のための短時間勤務制度、所定外労働の制限（残業を免除する制度））の利用状況・現在の働き方・将来の働き方について
<p>調査対象</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○調査時点で小学校4年生未満の子の育児を行いながら就労している <ul style="list-style-type: none"> ①正社員・職員（男性） ②正社員・職員（女性） ③正社員・職員以外（パート・アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託社員など）（男性） ④正社員・職員以外（パート・アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託社員など）（女性） ○調査時点で小学校4年生未満の子の育児を行っている <ul style="list-style-type: none"> ⑤育児のために離職をした経験のある離職前正社員・職員（女性） ※調査時点の有職無職は問わない ⑥育児のために離職をした経験のある離職前正社員・職員以外（パート・アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託社員など）（女性） ※調査時点の有職無職は問わない <p>※なお、育児のために離職をした経験のある離職前正社員・職員（男性）及び育児のために離職をした経験のある離職前正社員・職員以外（パート・アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託社員など）（男性）にも調査を実施したが、子の育児等を理由とした離職経験の有無に関する回答で不整合な回答が多数あったことから、集計に至らなかった。</p>
<p>調査方法</p>	<p>インターネットモニターを利用したWeb調査方式</p>
<p>実施期間</p>	<p>令和4年12月21日～令和5年1月5日</p>

1. 回答者の概要及び仕事の状況

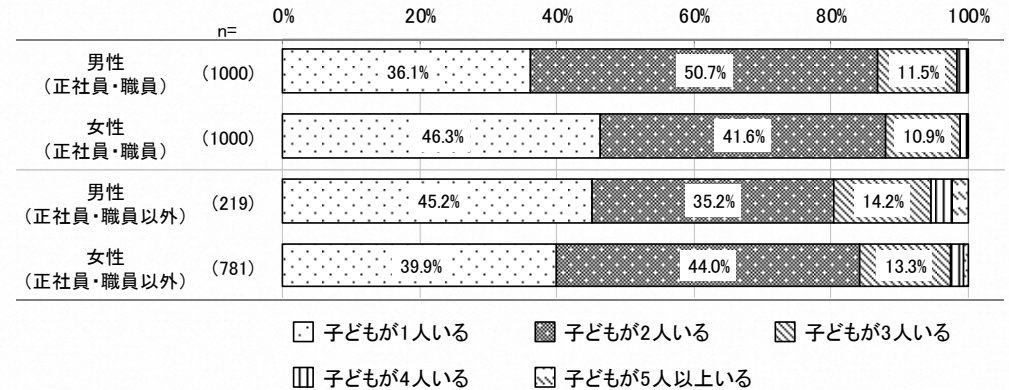
(1) 年齢

図表1 年齢：単数回答



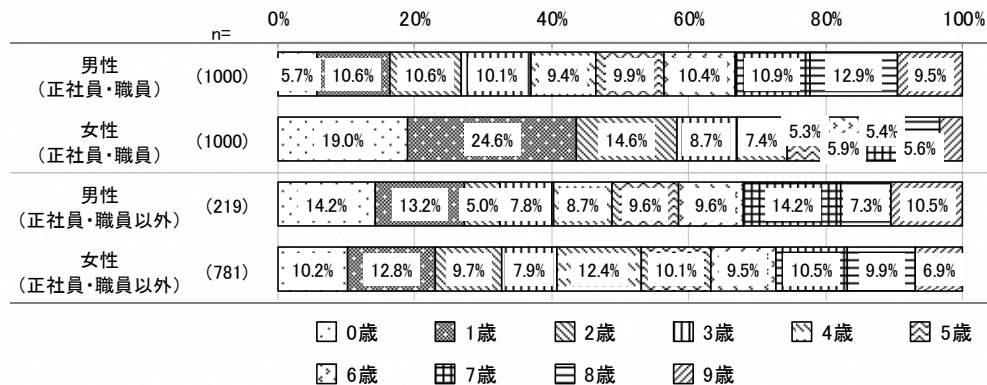
(2) 子どもの人数

図表2 子どもの人数：単数回答



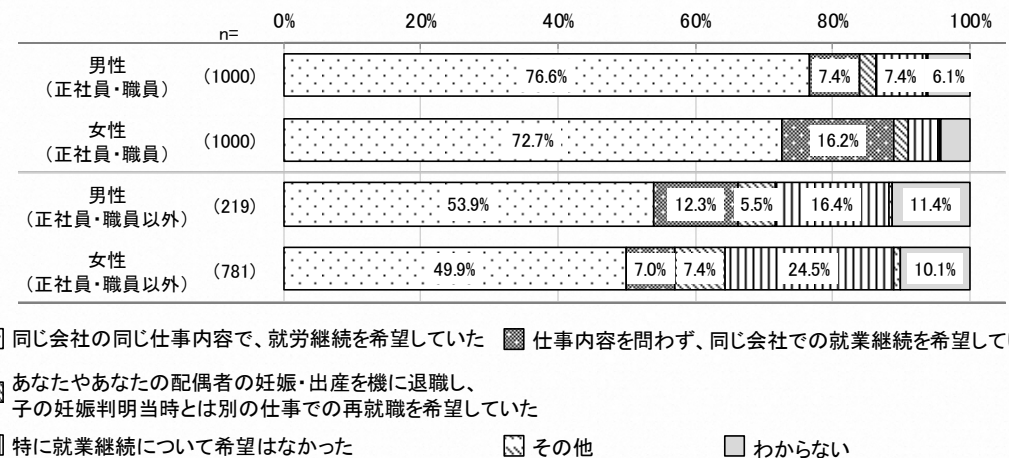
(3) 末子の年齢

図表3 末子の年齢：数字回答



(4) 末子妊娠判明当時の就労継続希望

図表4 末子妊娠判明当時の就労継続希望：単数回答

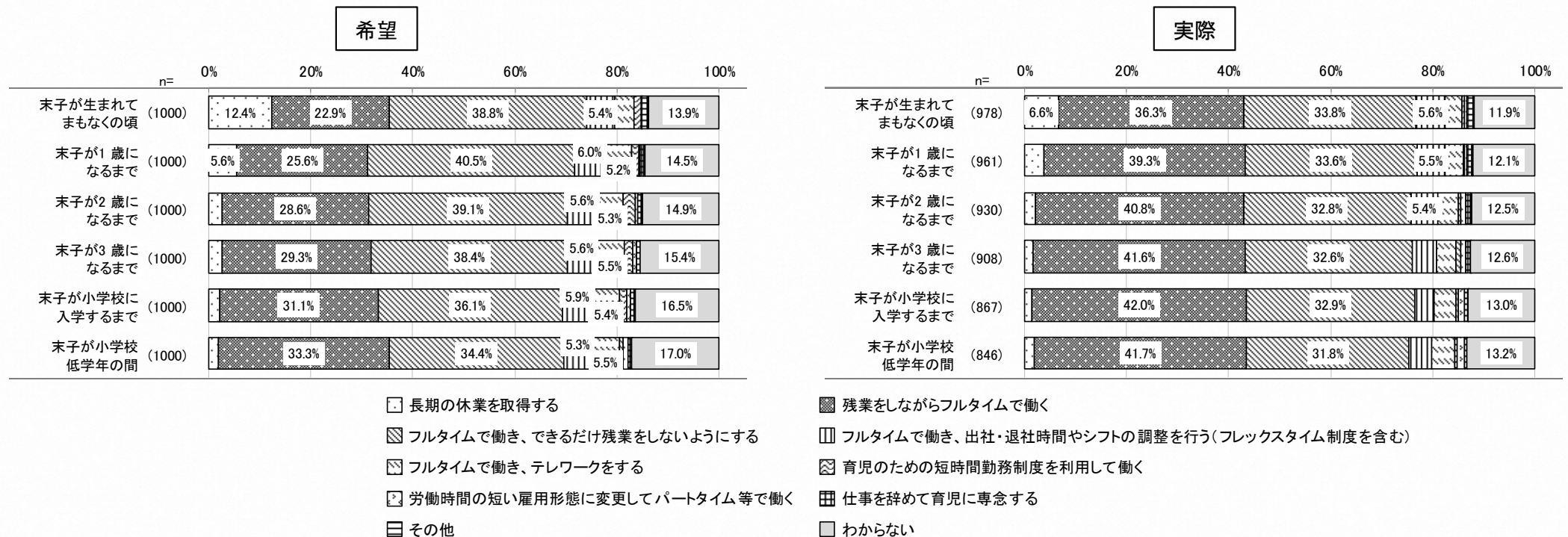


2. 仕事と育児の両立のあり方に関する希望と実際

(1) 末子の年齢別にみた、仕事と育児の両立のあり方＜男性（正社員・職員）＞

- ・「男性（正社員・職員）」について、仕事と育児の両立のあり方の「希望」を通時的にみると、子どもの年齢にかかわらず「フルタイムで働き、できるだけ残業をしないようにする」が3割半ば～4割程度でもっとも回答割合が高く、次いで、「残業をしながらフルタイムで働く」となっている。
- ・「男性（正社員・職員）」について、仕事と育児の両立のあり方の「実際」を末子が該当年齢に達している方で通時的にみると、子どもの年齢にかかわらず「残業をしながらフルタイムで働く」が3割半ばから4割強でもっとも回答割合が高く、次いで、「フルタイムで働き、できるだけ残業をしないようにする」が3割程度となっている。

図表5 通時的にみた、仕事と育児の両立のあり方の「希望」と「実際」＜男性（正社員・職員）＞：単数回答



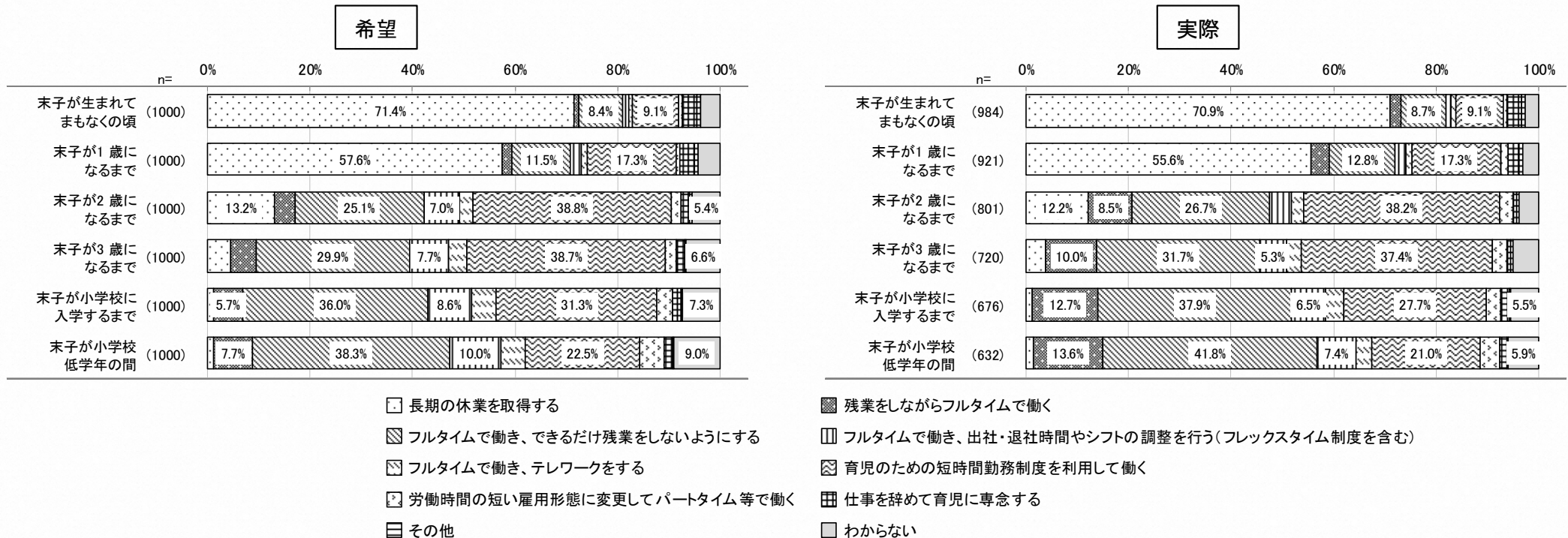
※本設問それぞれにおいて「11.末子がまだ選択肢の年齢に達していない」以外を選択した回答者を集計対象とする。また「無回答」も集計対象外とする。

2. 仕事と育児の両立のあり方に関する希望と実際

(2) 末子の年齢別にみた、仕事と育児の両立のあり方＜女性（正社員・職員）＞

- ・「女性（正社員・職員）」について、仕事と育児の両立のあり方の「希望」を通時的にみると、「末子が生まれてまもなくの頃」から「末子が1歳になるまで」は「長期の休業を取得する」がもっとも回答割合が高く、「末子が2歳になるまで」から「末子が3歳になるまで」は「育児のための短時間勤務制度を利用して働く」がもっとも回答割合が高くなっている。「末子が小学校に入学するまで」から「末子が小学校低学年の間」は「フルタイムで働き、できるだけ残業をしないようにする」がもっとも回答割合が高くなっている。
- ・「女性（正社員・職員）」について、仕事と育児の両立のあり方の「実際」を末子が該当年齢に達している方で通時的にみると、「末子が生まれてまもなくの頃」から「末子が1歳になるまで」は「長期の休業を取得する」がもっとも回答割合が高く、「末子が2歳になるまで」から「末子が3歳になるまで」は「育児のための短時間勤務制度を利用して働く」がもっとも回答割合が高くなっている。「末子が小学校に入学するまで」から「末子が小学校低学年の間」は「フルタイムで働き、できるだけ残業をしないようにする」がもっとも回答割合が高くなっている。

図表6 通時的にみた、仕事と育児の両立のあり方の「希望」と「実際」＜女性（正社員・職員）＞：単数回答



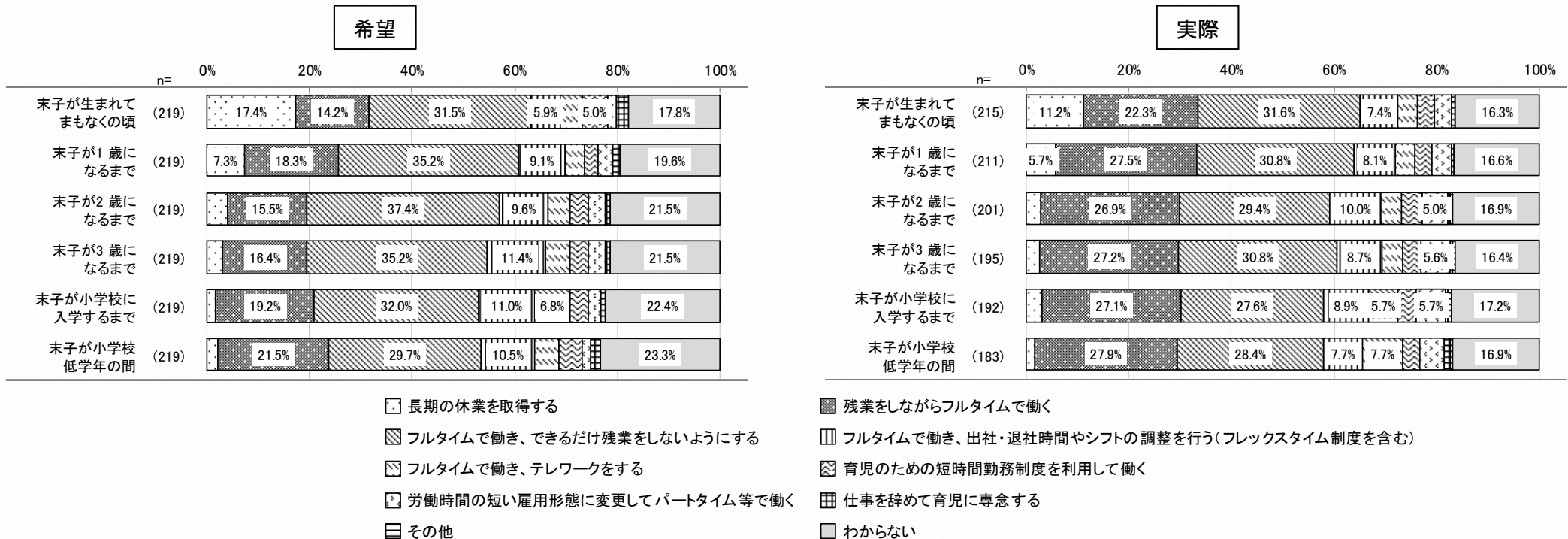
※本設問それぞれにおいて「11.末子がまだ選択肢の年齢に達していない」以外を選択した回答者を集計対象とする。また「無回答」も集計対象外とする。

2. 仕事と育児の両立のあり方に関する希望と実際

(3) 末子の年齢別にみた、仕事と育児の両立のあり方<男性（正社員・職員以外）>

- ・「男性（正社員・職員以外）」について、仕事と育児の両立のあり方の「希望」を通時的にみると、子どもの年齢にかかわらず「フルタイムで働き、できるだけ残業をしないようにする」がもっとも回答割合が高くなっている。「わからない」以外の回答で、次いで、「末子が生まれてまもなくの頃」は「長期の休業を取得する」となっており、「末子が1歳になるまで」から「末子が小学校低学年の間」は「残業をしながらフルタイムで働く」となっている。
- ・「男性（正社員・職員以外）」について、仕事と育児の両立のあり方の「実際」を末子が該当年齢に達している方で通時的にみると、子どもの年齢にかかわらず「フルタイムで働き、できるだけ残業をしないようにする」がもっとも回答割合が高く、次いで、「残業をしながらフルタイムで働く」となっている。

図表7 通時的にみた、仕事と育児の両立のあり方の「希望」と「実際」<男性（正社員・職員以外）>：単数回答



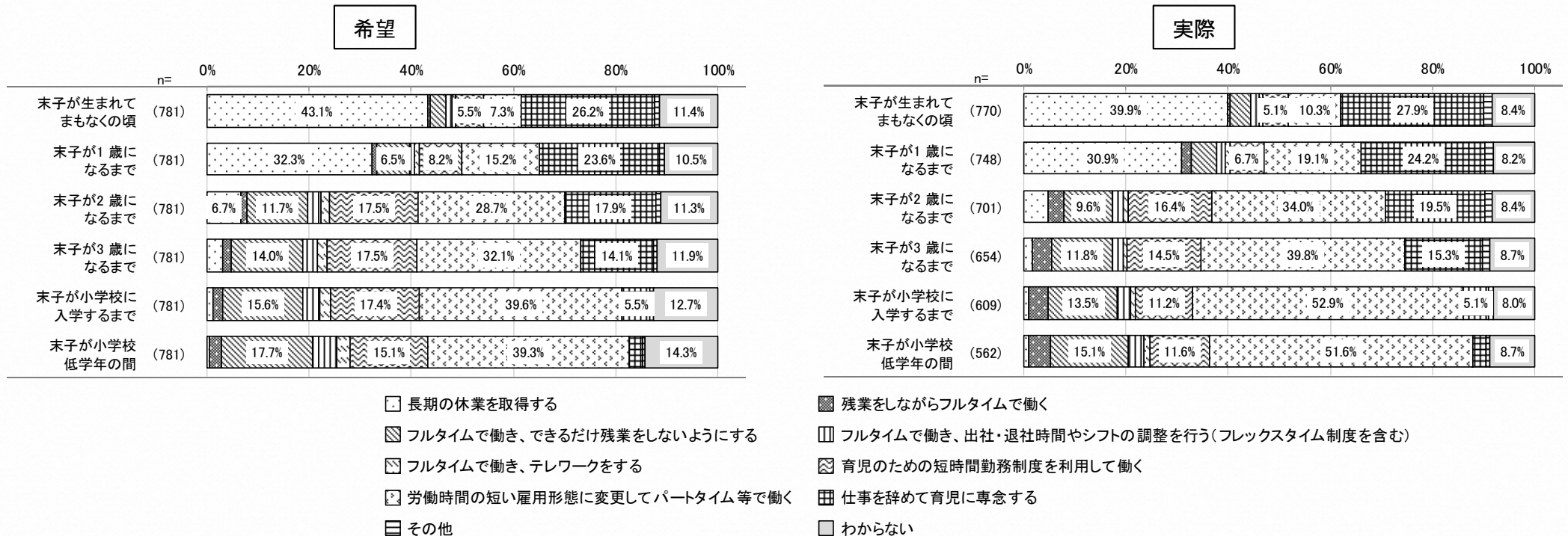
※本設問それぞれにおいて「11.末子がまだ選択肢の年齢に達していない」以外を選択した回答者を集計対象とする。また「無回答」も集計対象外とする。

2. 仕事と育児の両立のあり方に関する希望と実際

(4) 末子の年齢別にみた、仕事と育児の両立のあり方＜女性（正社員・職員以外）＞

- ・「女性（正社員・職員以外）」について、仕事と育児の両立のあり方の「希望」を通時的にみると、「末子が生まれてまもなくの頃」から「末子が1歳になるまで」は「長期の休業を取得する」がもっとも回答割合が高く、「末子が2歳になるまで」から「末子が小学校低学年の間」は「労働時間の短い雇用形態に変更してパートタイム等で働く」がもっとも回答割合が高くなっている。
- ・「女性（正社員・職員以外）」について、仕事と育児の両立のあり方の「実際」を末子が該当年齢に達している方で通時的にみると、「末子が生まれてまもなくの頃」から「末子が1歳になるまで」は「長期の休業を取得する」がもっとも回答割合が高く、「末子が2歳になるまで」から「末子が小学校低学年の間」は「労働時間の短い雇用形態に変更してパートタイム等で働く」がもっとも回答割合が高くなっている。

図表8 通時的にみた、仕事と育児の両立のあり方の「希望」と「実際」＜女性（正社員・職員以外）＞：単数回答



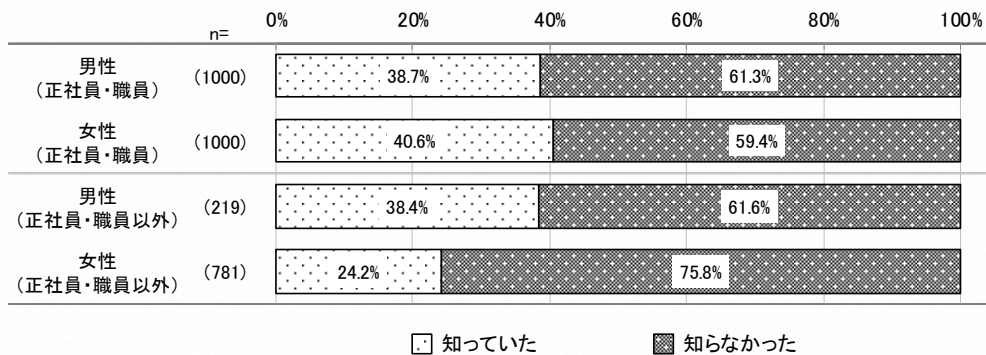
※本設問それぞれにおいて「11.末子がまだ選択肢の年齢に達していない」以外を選択した回答者を集計対象とする。また「無回答」も集計対象外とする。

3. 育児のための休暇・休業について

(1) 育児休業制度に関する法改正の内容認知（①個別の制度周知・休業取得意向確認と雇用環境整備の措置）

- ・ 個別の制度周知・休業取得意向確認と雇用環境整備の措置について、認知状況をみると、「男性（正社員・職員）」では「知らなかった」が61.3%、「知っていた」が38.7%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員）」では「知らなかった」が59.4%、「知っていた」が40.6%となっている。
- ・ 「男性（正社員・職員以外）」では「知らなかった」が61.6%、「知っていた」が38.4%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員以外）」では「知らなかった」が75.8%、「知っていた」が24.2%となっている。

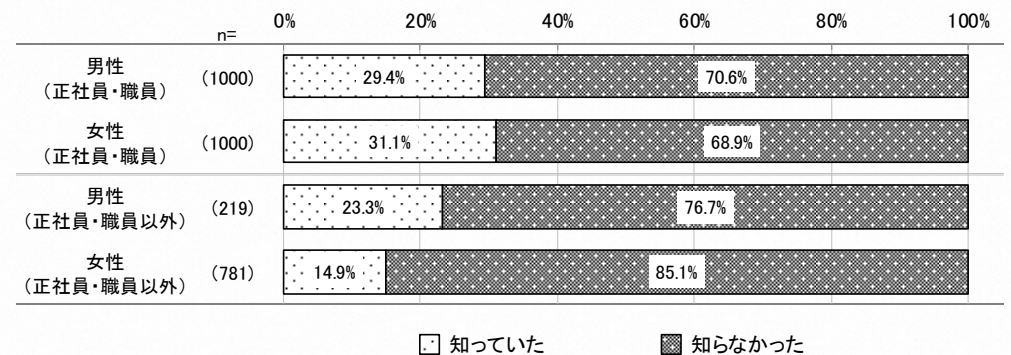
図表9 育児休業制度に関する法改正の内容認知_個別の制度周知・休業取得意向確認と雇用環境整備の措置：単数回答



(2) 育児休業制度に関する法改正の内容認知（②有期雇用労働者の育児・介護休業取得要件の緩和）

- ・ 有期雇用労働者の育児・介護休業取得要件の緩和について、認知状況をみると、「男性（正社員・職員）」では「知らなかった」が70.6%、「知っていた」が29.4%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員）」では「知らなかった」が68.9%、「知っていた」が31.1%となっている。
- ・ 「男性（正社員・職員以外）」では「知らなかった」が76.7%、「知っていた」が23.3%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員以外）」では「知らなかった」が85.1%、「知っていた」が14.9%となっている。

図表10 育児休業制度に関する法改正の内容認知_有期雇用労働者の育児・介護休業取得要件の緩和：単数回答



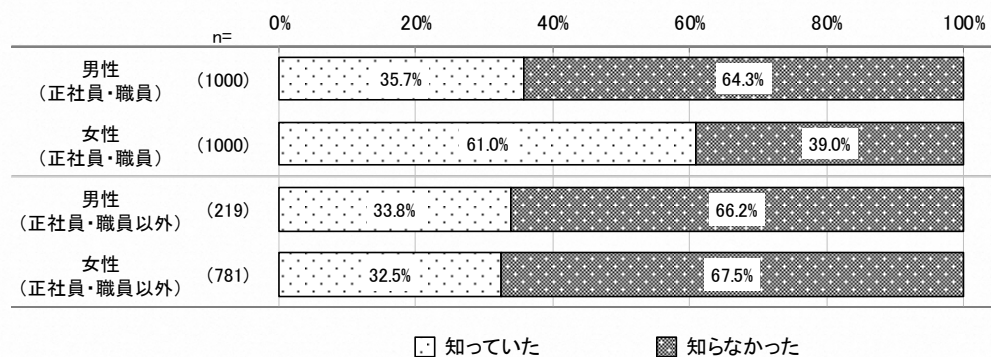
3. 育児のための休暇・休業について

(3) 育児休業制度に関する法改正の内容認知

(③) 出生時育児休業（産後パパ育休）の開始

- ・ 出生時育児休業（産後パパ育休）の開始について、認知状況をみると、「男性（正社員・職員）」では「知らなかった」が64.3%、「知っていた」が35.7%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員）」では「知っていた」が61.0%、「知らなかった」が39.0%となっている。
- ・ 「男性（正社員・職員以外）」では「知らなかった」が66.2%、「知っていた」が33.8%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員以外）」では「知らなかった」が67.5%、「知っていた」が32.5%となっている。

図表11 育児休業制度に関する法改正の内容認知_出生時育児休業（産後パパ育休）の開始：単数回答

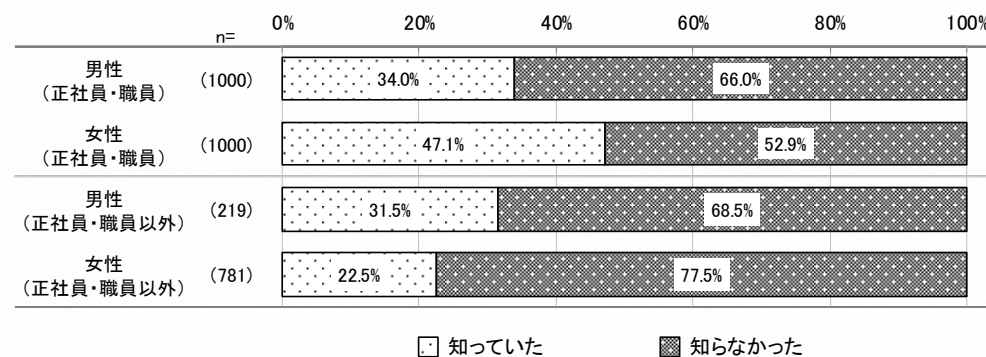


(4) 育児休業制度に関する法改正の内容認知

(④) 育児休業の分割取得

- ・ 育児休業が分割取得可能となったことについて、認知状況をみると、「男性（正社員・職員）」では「知らなかった」が66.0%、「知っていた」が34.0%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員）」では「知らなかった」が52.9%、「知っていた」が47.1%となっている。
- ・ 「男性（正社員・職員以外）」では「知らなかった」が68.5%、「知っていた」が31.5%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員以外）」では「知らなかった」が77.5%、「知っていた」が22.5%となっている。

図表12 育児休業制度に関する法改正の内容認知_育児休業の分割取得：単数回答



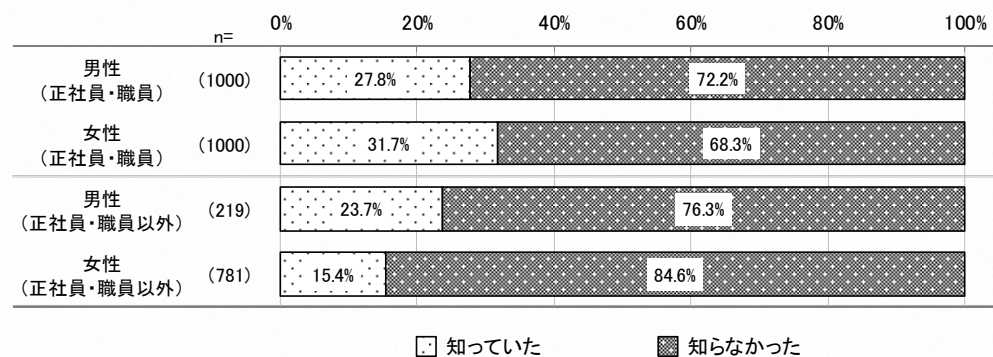
3. 育児のための休暇・休業について

(5) 育児休業制度に関する法改正の内容認知

(⑤ 育児休業取得状況の公表の義務化)

- ・ 育児休業取得状況の公表の義務化について、認知状況をみると、「男性（正社員・職員）」では「知らなかった」が72.2%、「知っていた」が27.8%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員）」では「知らなかった」が68.3%、「知っていた」が31.7%となっている。
- ・ 「男性（正社員・職員以外）」では「知らなかった」が76.3%、「知っていた」が23.7%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員以外）」では「知らなかった」が84.6%、「知っていた」が15.4%となっている。

図表13 育児休業制度に関する法改正の内容認知
 育児休業取得状況の公表の義務化：単数回答

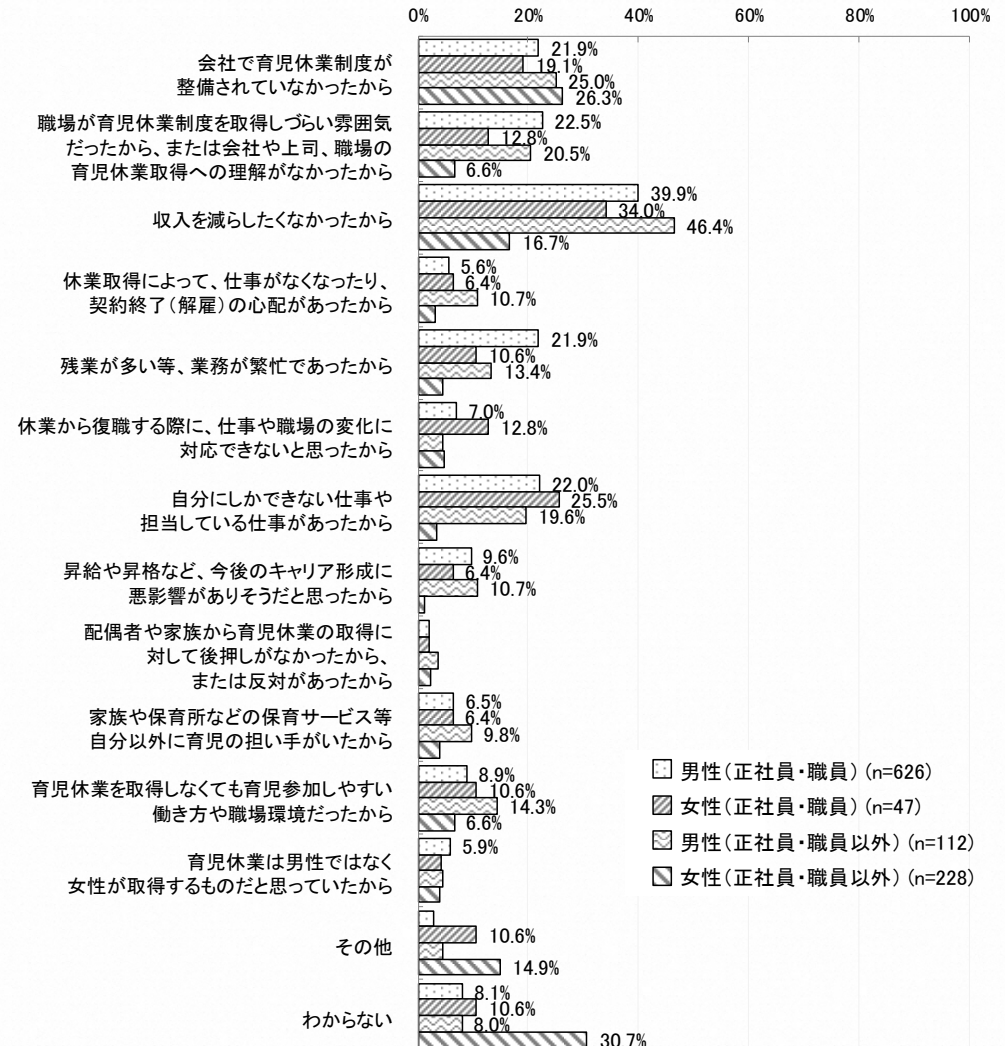


3. 育児のための休暇・休業について

(6) 末子の育児に関して、育児休業制度を取得しなかった理由

- ・末子の育児のための休暇・休業制度のなかで育児休業制度を利用しなかった回答者について、取得しなかった理由をみると、「男性（正社員・職員）」では「収入を減らしたくなかったから」が39.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だったから、または会社や上司、職場の育児休業取得への理解がなかったから」が22.5%となっている。
- ・「女性（正社員・職員）」では「収入を減らしたくなかったから」が34.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「自分にしかできない仕事や担当している仕事があったから」が25.5%となっている。
- ・「男性（正社員・職員以外）」では「収入を減らしたくなかったから」が46.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「会社で育児休業制度が整備されていなかったから」が25.0%となっている。
- ・「女性（正社員・職員以外）」では「わからない」が30.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「会社で育児休業制度が整備されていなかったから」が26.3%となっている。

図表14 末子の育児に関して、育児休業制度を取得しなかった理由：複数回答



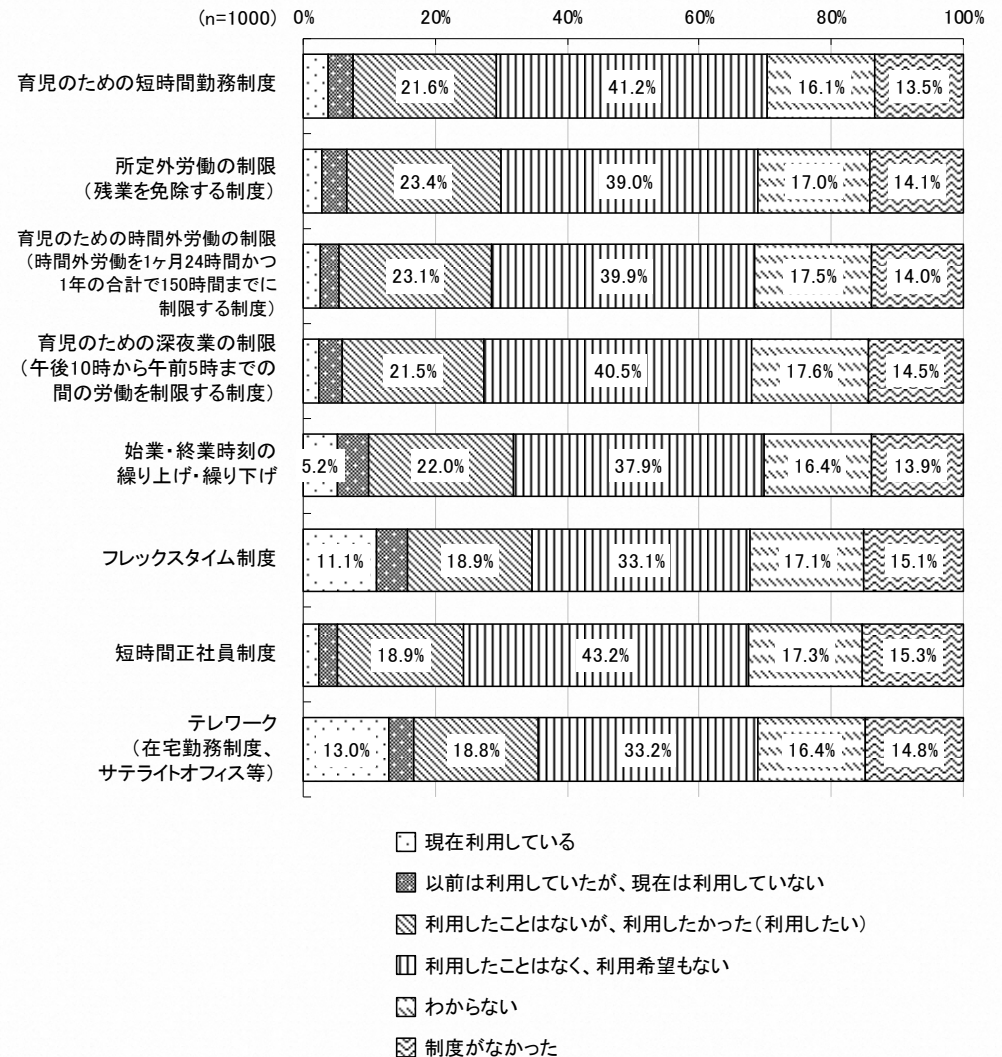
※末子の育児のための休暇・休業制度のうち育児休業の利用状況において、「3.利用したことはないが、利用したかった(利用したい)」「4.利用したことはなく、利用希望もない」のいずれかを選択した回答者を集計対象とする。

4. 両立支援制度の利用状況・現在の働き方・将来の働き方について

(1) 未子の育児に関して、両立支援制度利用状況＜男性（正社員・職員）＞

- ・育児のための短時間勤務制度の利用状況をみると、「男性（正社員・職員）」では「利用したことはなく、利用希望もない」が41.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用したことはないが、利用したかった（利用したい）」が21.6%となっている。
- ・所定外労働の制限（残業を免除する制度）の利用状況をみると、「男性（正社員・職員）」では「利用したことはなく、利用希望もない」が39.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用したことはないが、利用したかった（利用したい）」が23.4%となっている。
- ・始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げの利用状況をみると、「男性（正社員・職員）」では「利用したことはなく、利用希望もない」が37.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用したことはないが、利用したかった（利用したい）」が22.0%となっている。
- ・フレックスタイム制度の利用状況をみると、「男性（正社員・職員）」では「利用したことはなく、利用希望もない」が33.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用したことはないが、利用したかった（利用したい）」が18.9%となっている。
- ・テレワーク（在宅勤務制度、サテライトオフィス等）の利用状況をみると、「男性（正社員・職員）」では「利用したことはなく、利用希望もない」が33.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用したことはないが、利用したかった（利用したい）」が18.8%となっている。

図表15 未子の育児に関して、両立支援制度の利用状況
＜男性（正社員・職員）＞：単数回答

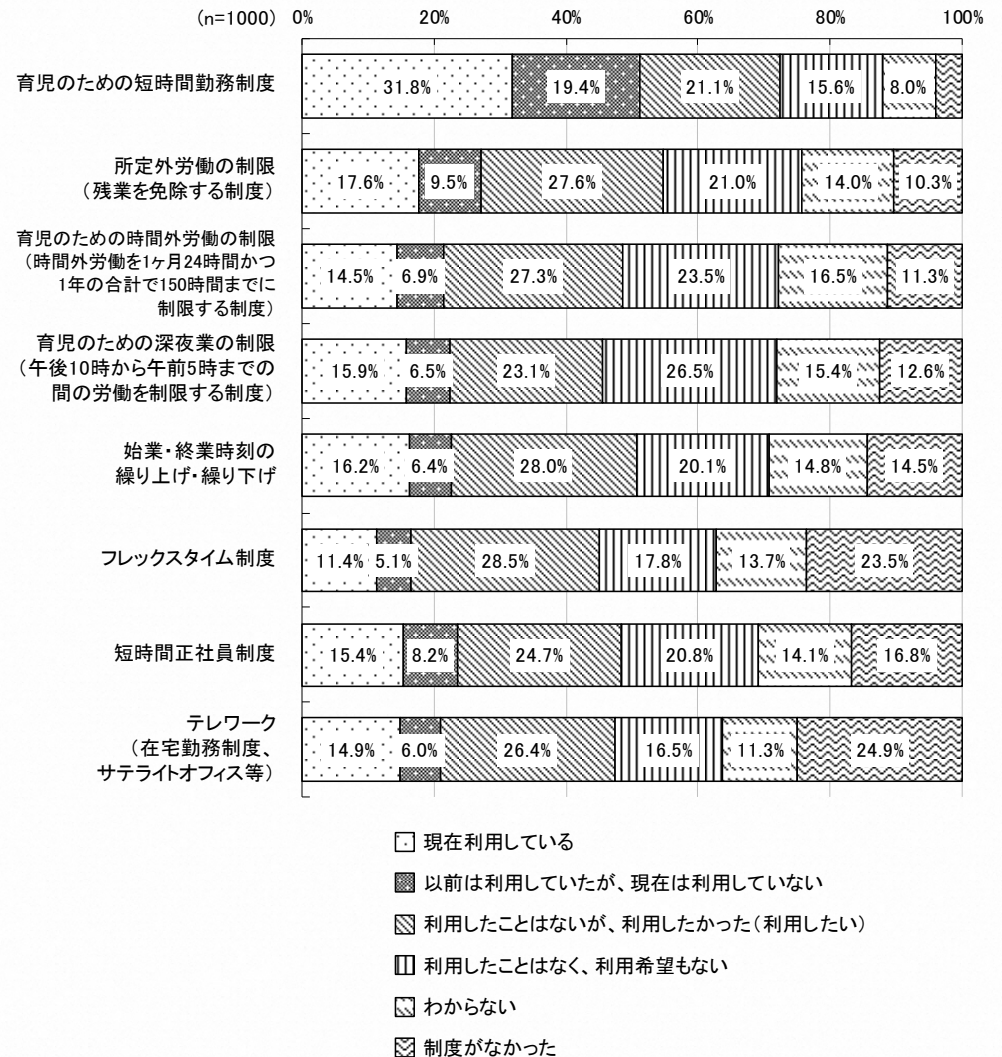


4. 両立支援制度の利用状況・現在の働き方・将来の働き方について

(2) 未子の育児に関して、両立支援制度利用状況＜女性（正社員・職員）＞

- ・育児のための短時間勤務制度の利用状況をみると、「女性（正社員・職員）」では「現在利用している」が31.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用したことはないが、利用したかった（利用したい）」が21.1%となっている。
- ・所定外労働の制限（残業を免除する制度）の利用状況をみると、「女性（正社員・職員）」では「利用したことはないが、利用したかった（利用したい）」が27.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用したことはなく、利用希望もない」が21.0%となっている。
- ・育児のための深夜業の制限（午後10時から午前5時までの間の労働を制限する制度）の利用状況をみると、「女性（正社員・職員）」では「利用したことはないが、利用したかった（利用したい）」が23.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用したことはないが、利用したかった（利用したい）」が23.1%となっている。
- ・始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げの利用状況をみると、「女性（正社員・職員）」では「利用したことはないが、利用したかった（利用したい）」が28.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用したことはなく、利用希望もない」が20.1%となっている。
- ・短時間正社員制度の利用状況をみると、「女性（正社員・職員）」では「利用したことはないが、利用したかった（利用したい）」が24.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用したことはなく、利用希望もない」が20.8%となっている。

図表16 未子の育児に関して、両立支援制度の利用状況＜女性（正社員・職員）＞：単数回答

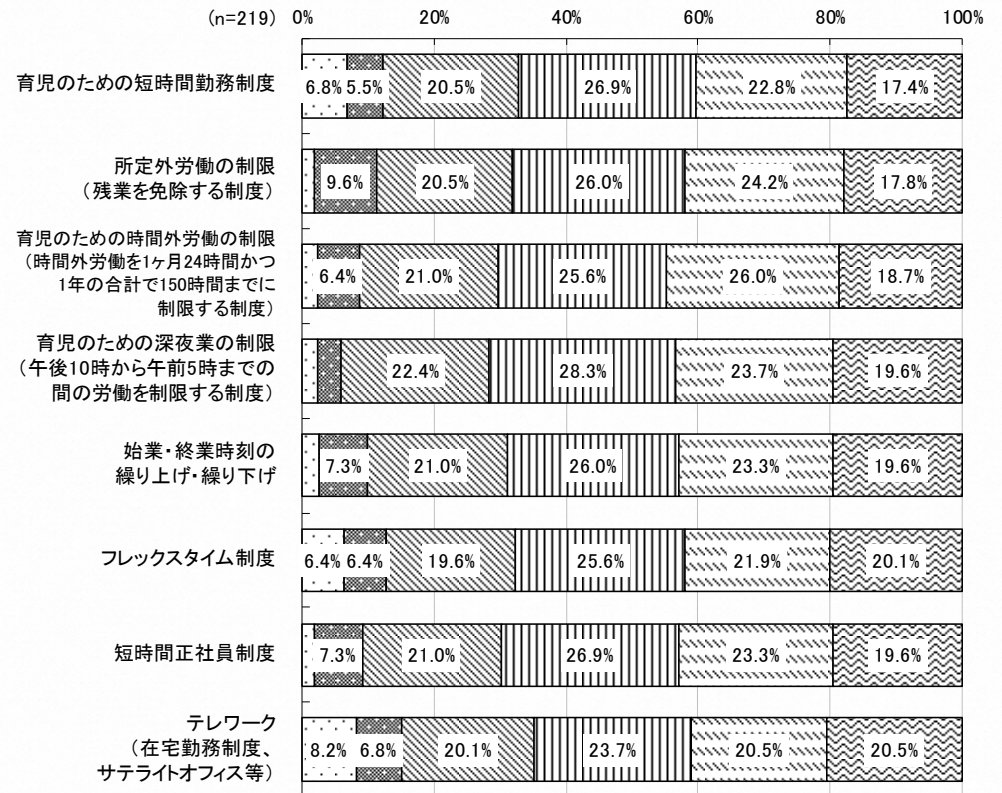


4. 両立支援制度の利用状況・現在の働き方・将来の働き方について

(3) 未子の育児に関して、両立支援制度利用状況＜男性（正社員・職員以外）＞

- ・育児のための短時間勤務制度の利用状況をみると、「男性（正社員・職員以外）」では「利用したことはなく、利用希望もない」が26.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が22.8%となっている。
- ・所定外労働の制限（残業を免除する制度）の利用状況をみると、「男性（正社員・職員以外）」では「利用したことはなく、利用希望もない」が26.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が24.2%となっている。
- ・始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げの利用状況をみると、「男性（正社員・職員以外）」では「利用したことはなく、利用希望もない」が26.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が23.3%となっている。
- ・フレックスタイム制度の利用状況をみると、「男性（正社員・職員以外）」では「利用したことはなく、利用希望もない」が25.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が21.9%となっている。
- ・テレワーク（在宅勤務制度、サテライトオフィス等）の利用状況をみると、「男性（正社員・職員以外）」では「利用したことはなく、利用希望もない」が23.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」「制度がなかった」が同率で20.5%となっている。

図表17 未子の育児に関して、両立支援制度の利用状況
＜男性（正社員・職員以外）＞：単数回答



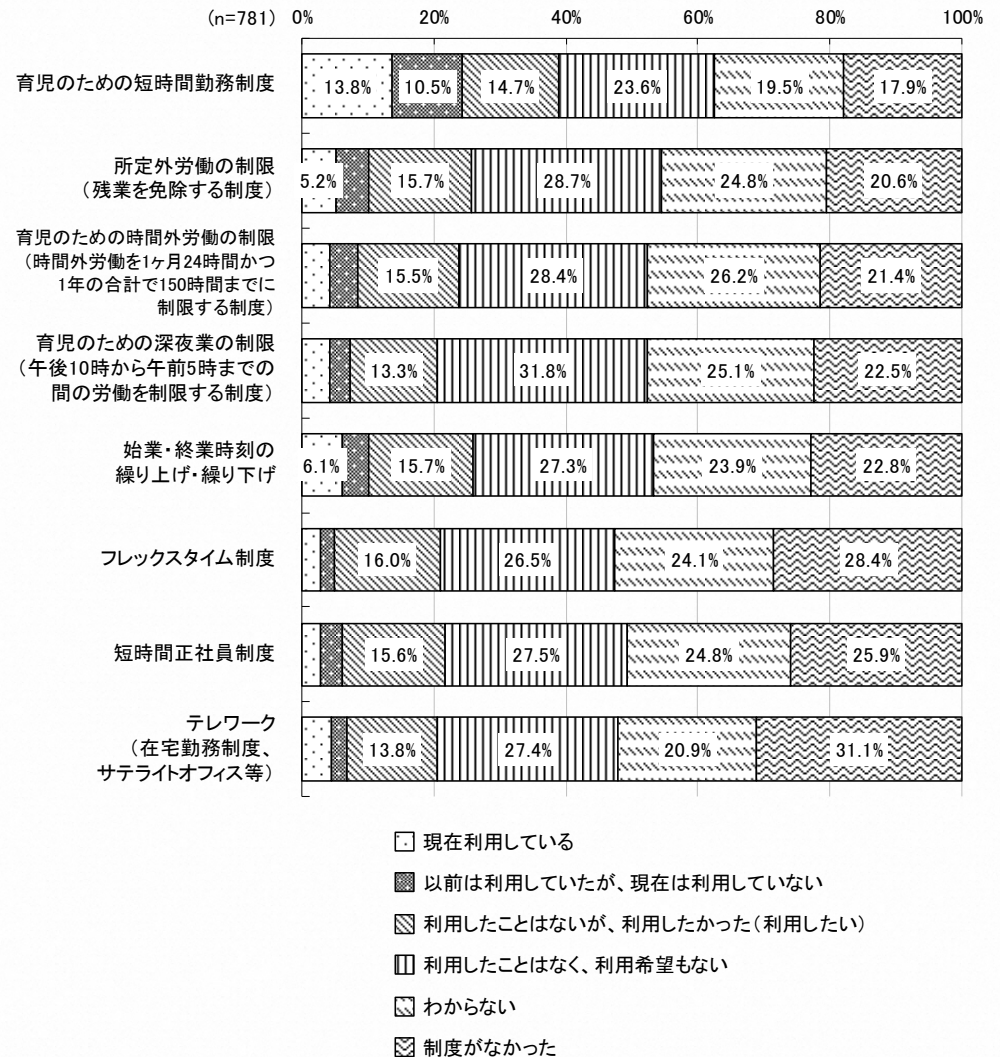
- 現在利用している
- 以前は利用していたが、現在は利用していない
- 利用したことはないが、利用したかった(利用したい)
- 利用したことはなく、利用希望もない
- わからない
- 制度がなかった

4. 両立支援制度の利用状況・現在の働き方・将来の働き方について

(4) 未子の育児に関して、両立支援制度利用状況＜女性（正社員・職員以外）＞

- ・育児のための短時間勤務制度の利用状況をみると、「女性（正社員・職員以外）」では「利用したことはなく、利用希望もない」が23.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が19.5%となっている。
- ・所定外労働の制限（残業を免除する制度）の利用状況をみると、「女性（正社員・職員以外）」では「利用したことはなく、利用希望もない」が28.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が24.8%となっている。
- ・育児のための時間外労働の制限（時間外労働を1ヶ月24時間かつ1年の合計で150時間までに制限する制度）の利用状況をみると、「女性（正社員・職員以外）」では「利用したことはなく、利用希望もない」が28.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が26.2%となっている。
- ・育児のための深夜業の制限（午後10時から午前5時までの間の労働を制限する制度）の利用状況をみると、「女性（正社員・職員以外）」では「利用したことはなく、利用希望もない」が31.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が25.1%となっている。
- ・始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げの利用状況をみると、「女性（正社員・職員以外）」では「利用したことはなく、利用希望もない」が27.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が23.9%となっている。
- ・育児のための深夜業の制限（午後10時から午前5時までの間の労働を制限する制度）の利用状況をみると、「女性（正社員・職員以外）」では「利用したことはなく、利用希望もない」が31.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が25.1%となっている。
- ・始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げの利用状況をみると、「女性（正社員・職員以外）」では「利用したことはなく、利用希望もない」が27.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が23.9%となっている。

図表18 未子の育児に関して、両立支援制度の利用状況
＜女性（正社員・職員以外）＞：単数回答



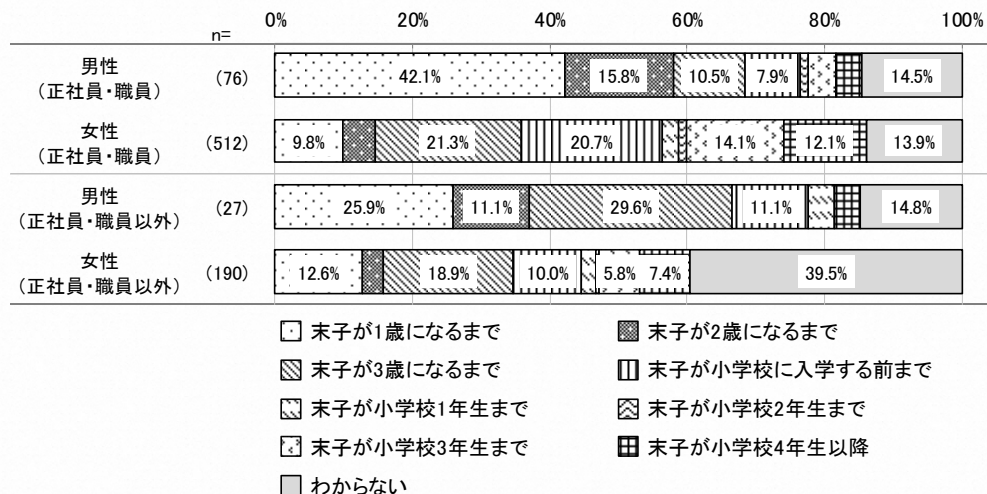
4. 両立支援制度の利用状況・現在の働き方・将来の働き方について

(5) 育児のための短時間勤務制度の利用期間について

① 会社で利用可能な最長期間

- ・ 育児のための短時間勤務制度を利用している（利用していた）回答者について、会社で利用可能な最長期間をみると、「男性（正社員・職員）」では「末子が1歳になるまで」が42.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「末子が2歳になるまで」が15.8%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員）」では「末子が3歳になるまで」が21.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「末子が小学校に入学する前まで」が20.7%となっている。
- ・ 「男性（正社員・職員以外）」では「末子が3歳になるまで」が29.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「末子が1歳になるまで」が25.9%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員以外）」では「わからない」が39.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「末子が3歳になるまで」が18.9%となっている。

図表19 制度の利用期間について_育児のための短時間勤務制度_
会社で利用可能な最長期間：単数回答



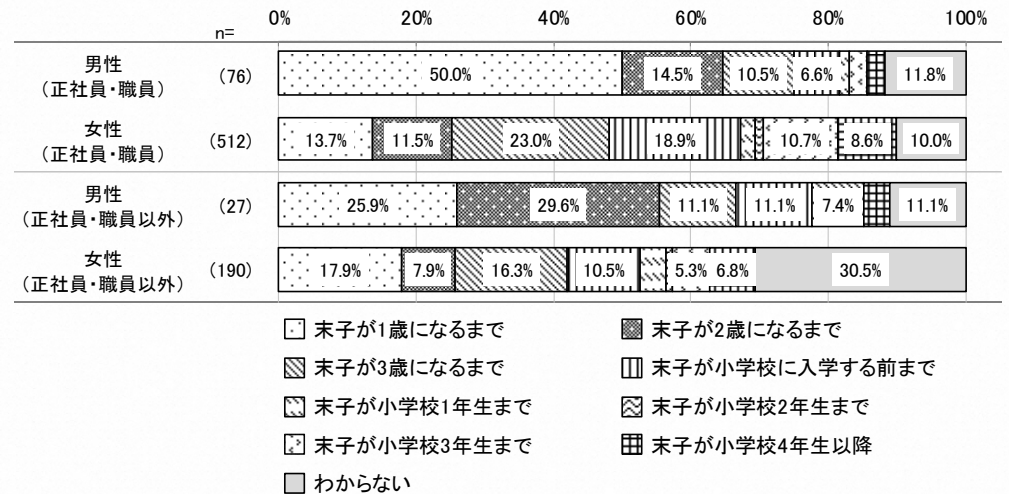
※両立支援制度の育児のための短時間勤務制度利用状況（図表15～18）について「1.現在利用している」「2.以前は利用していたが、現在は利用していない」のいずれかを選択した回答者を集計対象とする。

(6) 育児のための短時間勤務制度の利用期間について

② 実際に利用した期間（利用する予定の期間）

- ・ 育児のための短時間勤務制度を利用している（利用していた）回答者について、実際に利用した（利用予定の）期間をみると、「男性（正社員・職員）」では「末子が1歳になるまで」が50.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「末子が2歳になるまで」が14.5%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員）」では「末子が3歳になるまで」が23.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「末子が小学校に入学する前まで」が18.9%となっている。
- ・ 「男性（正社員・職員以外）」では「末子が2歳になるまで」が29.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「末子が1歳になるまで」が25.9%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員以外）」では「わからない」が30.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「末子が1歳になるまで」が17.9%となっている。

図表20 制度の利用期間について_育児のための短時間勤務制度_
実際に利用した期間（利用する予定の期間）：単数回答



※両立支援制度の育児のための短時間勤務制度利用状況（図表15～18）について「1.現在利用している」「2.以前は利用していたが、現在は利用していない」のいずれかを選択した回答者を集計対象とする。

4. 両立支援制度の利用状況・現在の働き方・将来の働き方について

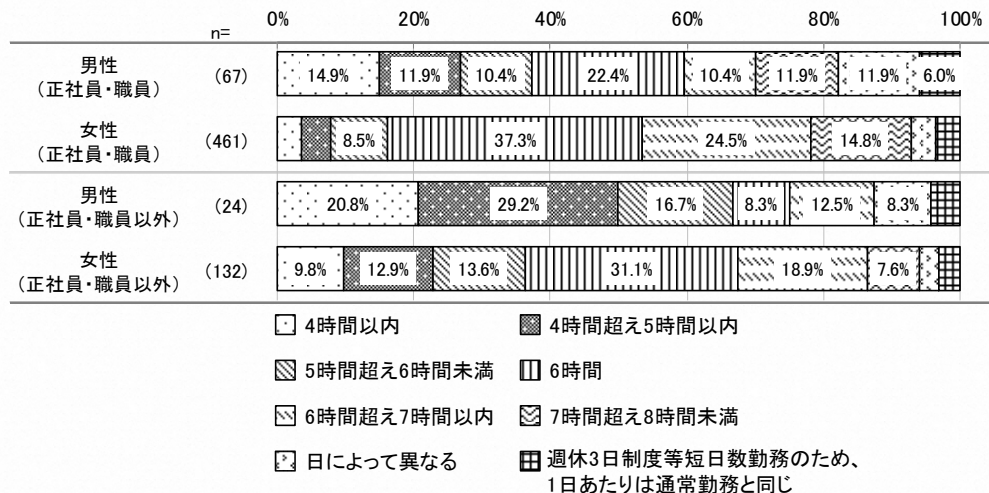
(7) 「育児のための短時間勤務制度」利用時の1日の勤務時間

- ・育児のための短時間勤務制度を実際に利用した（利用予定の）回答者について、その1日の勤務時間をみると、「男性（正社員・職員）」では「6時間」が22.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「4時間以内」が14.9%となっている。
- ・「女性（正社員・職員）」では「6時間」が37.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「6時間超え7時間以内」が24.5%となっている。
- ・「男性（正社員・職員以外）」では「4時間超え5時間以内」が29.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「4時間以内」が20.8%となっている。
- ・「女性（正社員・職員以外）」では「6時間」が31.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「6時間超え7時間以内」が18.9%となっている。

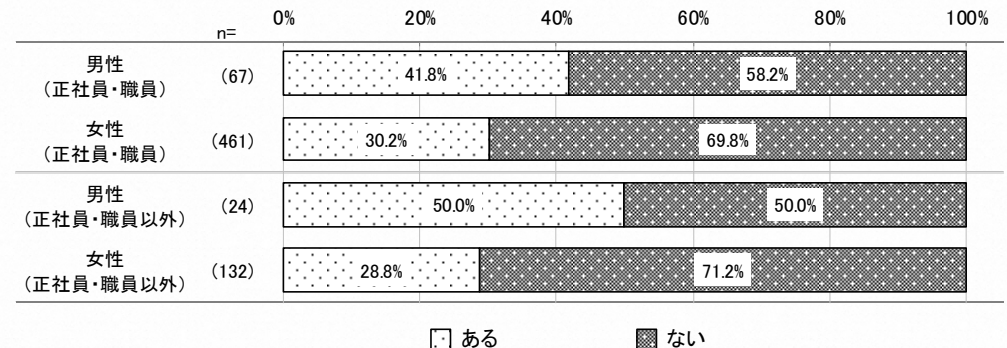
(8) 「育児のための短時間勤務制度」利用途中で勤務時間を変更したことがあるか

- ・育児のための短時間勤務制度を実際に利用した（利用予定の）回答者について、利用途中で勤務時間を変更したことがあるかをみると、「男性（正社員・職員）」では「ない」が58.2%で、「ある」が41.8%となっている。
- ・「女性（正社員・職員）」では「ない」が69.8%で、「ある」が30.2%となっている。
- ・「男性（正社員・職員以外）」では「ある」「ない」が同率で50.0%となっている。
- ・「女性（正社員・職員以外）」では「ない」が71.2%で、「ある」が28.8%となっている。

図表21 「育児のための短時間勤務制度」利用時の1日の勤務時間：単数回答



図表22 「育児のための短時間勤務制度」利用途中で勤務時間を変更したことがあるか：単数回答



※両立支援制度の育児のための短時間勤務制度を実際に利用した（利用予定の）期間（図表20）について「1.末子が1歳になるまで」～「8.末子が小学校4年生以降」のいずれかを選択した回答者を集計対象とする

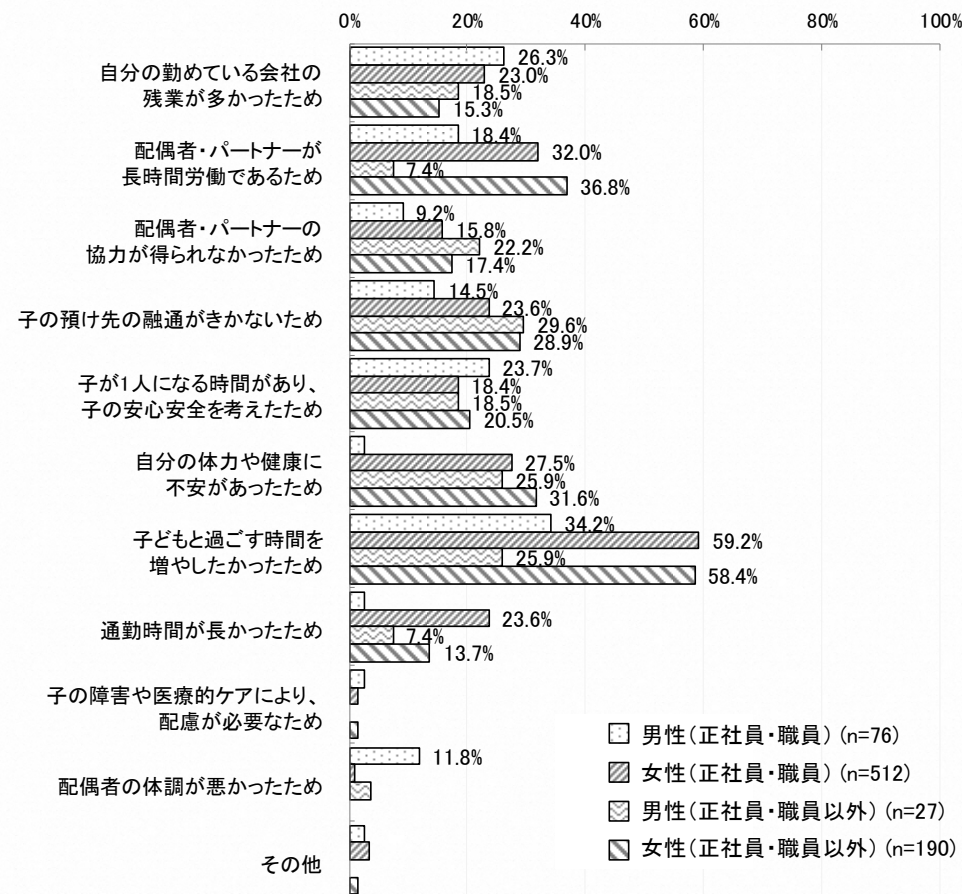
※両立支援制度の育児のための短時間勤務制度を実際に利用した（利用予定の）期間（図表20）について「1.末子が1歳になるまで」～「8.末子が小学校4年生以降」のいずれかを選択した回答者を集計対象とする。

4. 両立支援制度の利用状況・現在の働き方・将来の働き方について

(9) 育児のための短時間勤務制度を利用する理由

- ・育児のための短時間勤務制度を利用している（利用していた）回答者について、その利用理由をみると、「男性（正社員・職員）」では「子どもと過ごす時間を増やしたかったため」が34.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「自分の勤めている会社の残業が多かったため」が26.3%となっている。
- ・「女性（正社員・職員）」では「子どもと過ごす時間を増やしたかったため」が59.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「配偶者・パートナーが長時間労働であるため」が32.0%となっている。
- ・「男性（正社員・職員以外）」では「子の預け先の融通がきかないため」が29.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「自分の体力や健康に不安があったため」「子どもと過ごす時間を増やしたかったため」が同率で25.9%となっている。
- ・「女性（正社員・職員以外）」では「子どもと過ごす時間を増やしたかったため」が58.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「配偶者・パートナーが長時間労働であるため」が36.8%となっている。

図表23 育児のための短時間勤務制度利用理由：複数回答



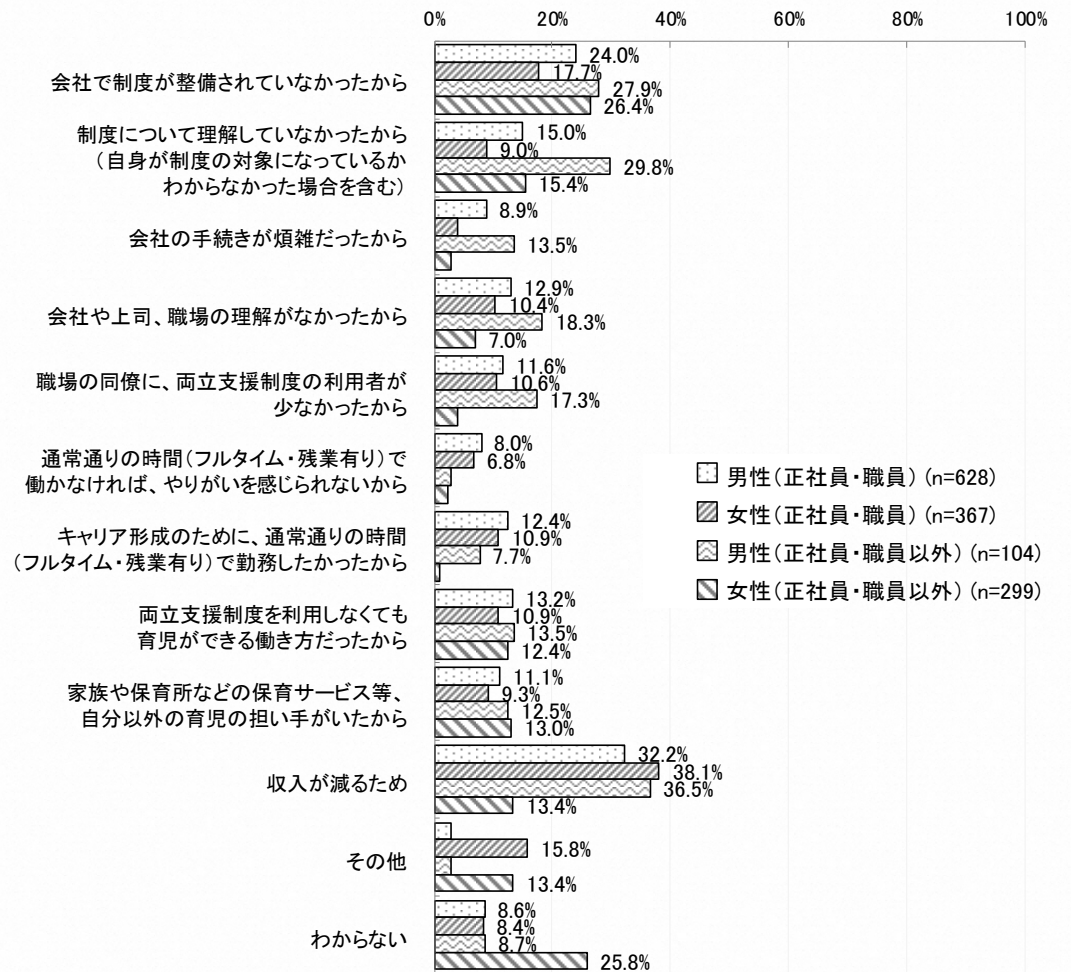
※両立支援制度の育児のための短時間勤務制度利用状況（図表15～18）について「1.現在利用している」「2.以前は利用していたが、現在は利用していない」のいずれかを選択した回答者を集計対象とする。

4. 両立支援制度の利用状況・現在の働き方・将来の働き方について

(10) 育児のための短時間勤務制度を利用しなかった理由

- ・ 育児のための短時間勤務制度を利用したことがない（利用していない）回答者について、その理由をみると、「男性（正社員・職員）」では「収入が減るため」が32.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「会社で制度が整備されていなかったから」が24.0%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員）」では「収入が減るため」が38.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「会社で制度が整備されていなかったから」が17.7%となっている。
- ・ 「男性（正社員・職員以外）」では「収入が減るため」が36.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「制度について理解していなかったから（自身が制度の対象になっているかわからなかった場合を含む）」が29.8%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員以外）」では「会社で制度が整備されていなかったから」が26.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が25.8%となっている。

図表24 制度非利用理由_育児のための短時間勤務制度：複数回答



※両立支援制度の育児のための短時間勤務制度利用状況（図表15～18）について「3.利用したことはないが、利用したかった（利用したい）」「4.利用したことはない、利用希望もない」のいずれかを選択した回答者を集計対象とする。

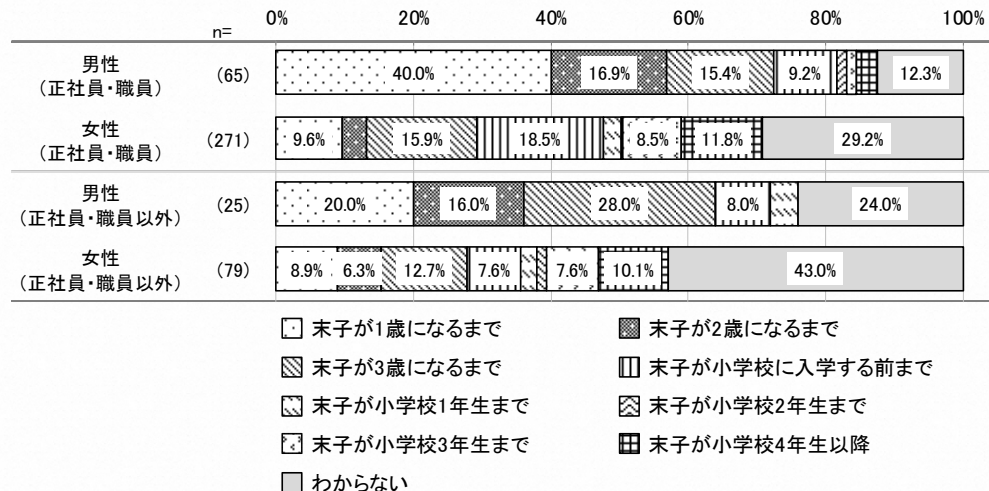
4. 両立支援制度の利用状況・現在の働き方・将来の働き方について

(11) 所定外労働の制限（残業を免除する制度）の利用期間について

① 会社で利用可能な最長期間

- ・ 所定外労働の制限（残業を免除する制度）を利用している（利用していた）回答者について、会社で利用可能な最長期間をみると、「男性（正社員・職員）」では「末子が1歳になるまで」が40.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「末子が2歳になるまで」が16.9%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員）」では「わからない」が29.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「末子が小学校に入学する前まで」が18.5%となっている。
- ・ 「男性（正社員・職員以外）」では「末子が3歳になるまで」が28.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が24.0%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員以外）」では「わからない」が43.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「末子が3歳になるまで」が12.7%となっている。

図表25 制度の利用期間について_所定外労働の制限（残業を免除する制度）_会社で利用可能な最長期間：単数回答



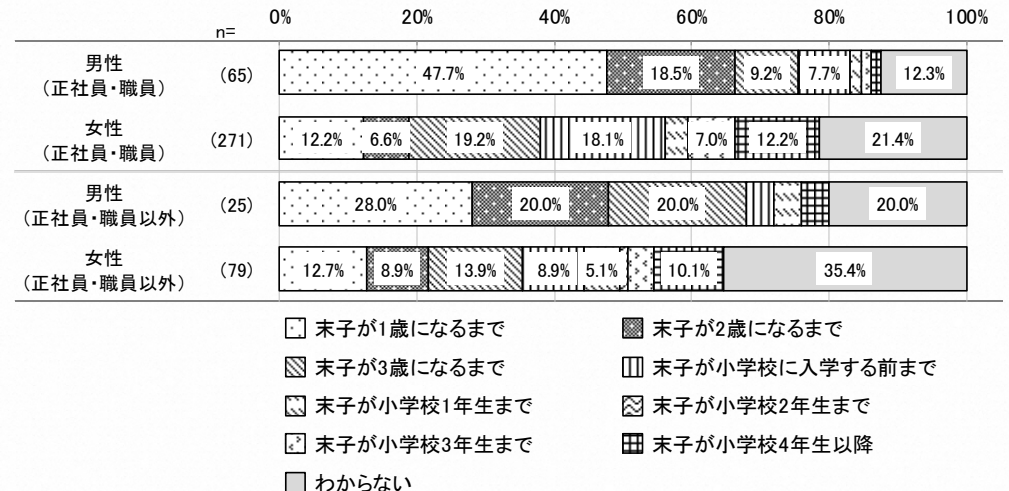
※両立支援制度の所定外労働の制限（残業を免除する制度）利用状況（図表15～18）について「1.現在利用している」「2.以前は利用していたが、現在は利用していない」のいずれかを選択した回答者を集計対象とする。

(12) 所定外労働の制限（残業を免除する制度）の利用期間について

② 実際に利用した期間（利用する予定の期間）

- ・ 所定外労働の制限（残業を免除する制度）を利用している（利用していた）回答者について、実際に利用した（利用予定の）期間をみると、「男性（正社員・職員）」では「末子が1歳になるまで」が47.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「末子が2歳になるまで」が18.5%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員）」では「わからない」が21.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「末子が3歳になるまで」が19.2%となっている。
- ・ 「男性（正社員・職員以外）」では「末子が1歳になるまで」が28.0%でもっとも回答割合が高くなっている。
- ・ 「女性（正社員・職員以外）」では「わからない」が35.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「末子が3歳になるまで」が13.9%となっている。

図表26 制度の利用期間について_所定外労働の制限（残業を免除する制度）_実際に利用した期間（利用する予定の期間）：単数回答



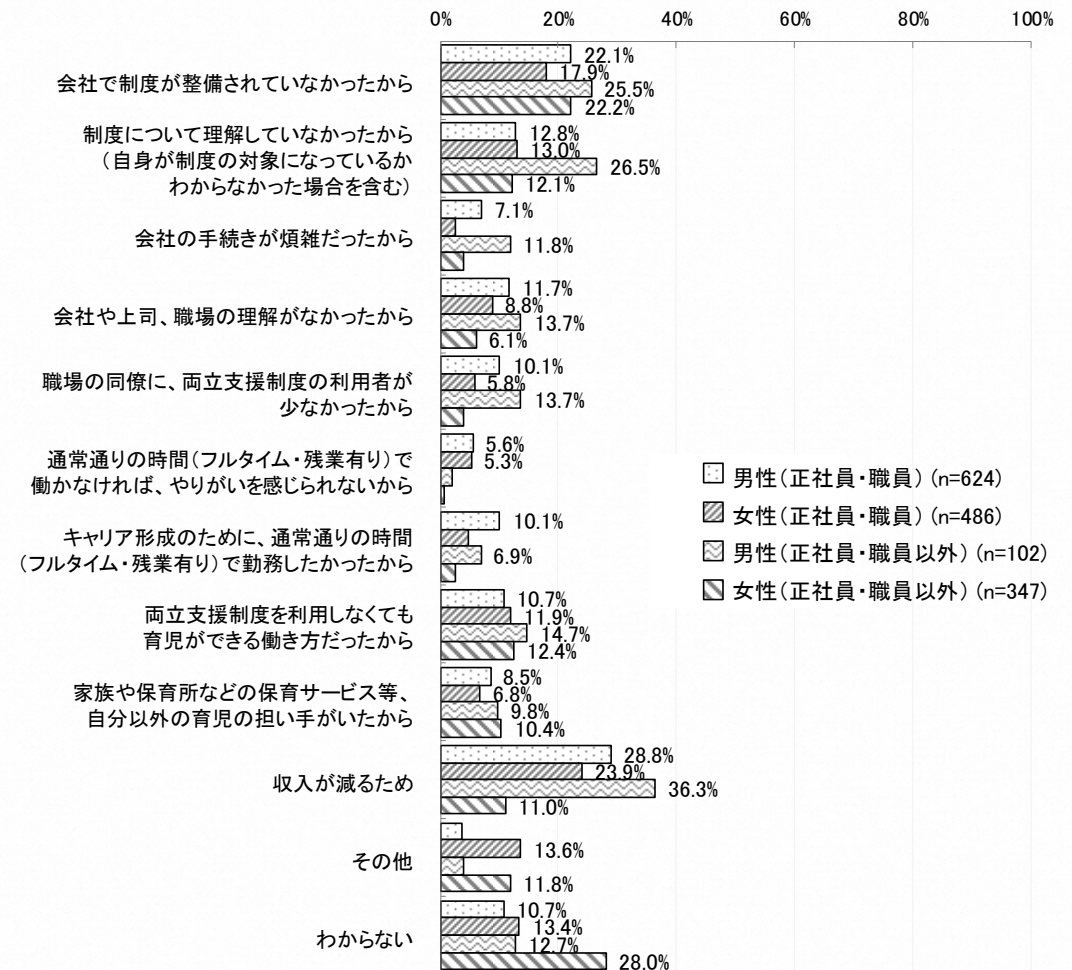
※両立支援制度の所定外労働の制限（残業を免除する制度）利用状況（図表15～18）について「1.現在利用している」「2.以前は利用していたが、現在は利用していない」のいずれかを選択した回答者を集計対象とする。

4. 両立支援制度の利用状況・現在の働き方・将来の働き方について

(13) 所定外労働の制限（残業を免除する制度）を利用しなかった理由

- ・所定外労働の制限（残業を免除する制度）を利用したことがない（利用していない）回答者について、その理由をみると、「男性（正社員・職員）」では「収入が減るため」が28.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「会社で制度が整備されていなかったから」が22.1%となっている。
- ・「女性（正社員・職員）」では「収入が減るため」が23.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「会社で制度が整備されていなかったから」が17.9%となっている。
- ・「男性（正社員・職員以外）」では「収入が減るため」が36.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「制度について理解していなかったから（自身が制度の対象になっているかわからなかった場合を含む）」が26.5%となっている。
- ・「女性（正社員・職員以外）」では「わからない」が28.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「会社で制度が整備されていなかったから」が22.2%となっている。

図表27 制度非利用理由_所定外労働の制限
（残業を免除する制度）：複数回答



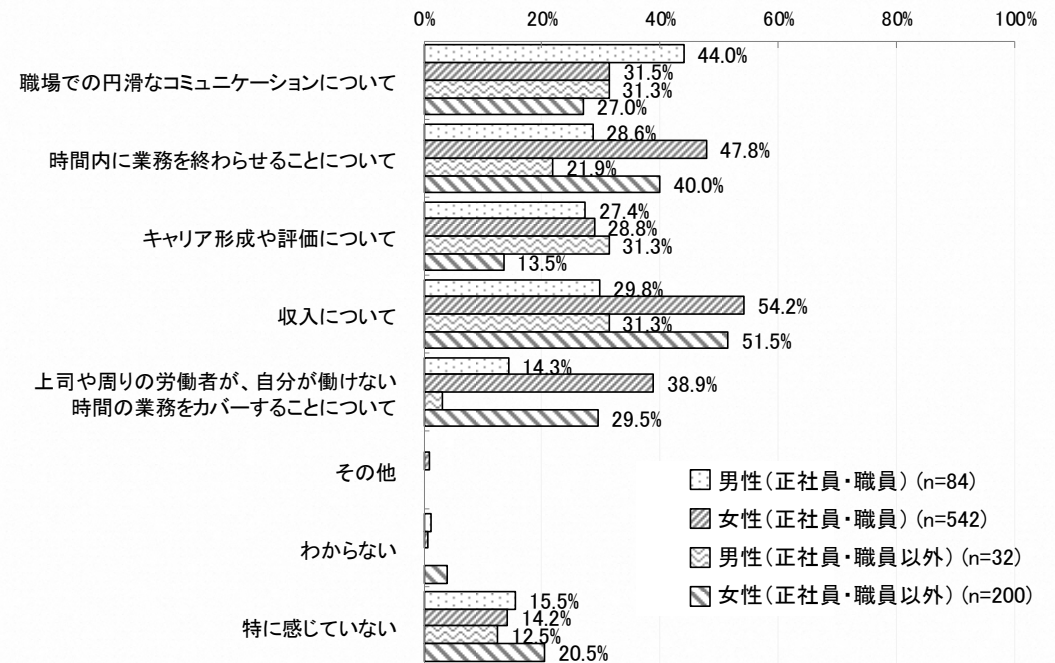
※両立支援制度の所定外労働の制限（残業を免除する制度）利用状況（図表15～18）について「3.利用したことはないが、利用したかった（利用したい）」「4.利用したことはなく、利用希望もない」のいずれかを選択した回答者を集計対象とする。

4. 両立支援制度の利用状況・現在の働き方・将来の働き方について

(14) 復職後、育児のための短時間勤務制度や所定外労働の制限の利用時に感じた不安

- ・ 育児のための短時間勤務制度や所定外労働の制限（残業を免除する制度）を利用している（利用していた）回答者について、産休や育児休業から復職後に育児のための短時間勤務制度や所定外労働の制限利用時に感じた不安をみると、「男性（正社員・職員）」では「職場での円滑なコミュニケーションについて」が44.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「収入について」が29.8%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員）」では「収入について」が54.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「時間内に業務を終わらせることについて」が47.8%となっている。
- ・ 「男性（正社員・職員以外）」では「職場での円滑なコミュニケーションについて」「キャリア形成や評価について」「収入について」が同率で31.3%ともっとも回答割合が高くなっている。
- ・ 「女性（正社員・職員以外）」では「収入について」が51.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「時間内に業務を終わらせることについて」が40.0%となっている。

図表28 復職後、育児のための短時間勤務制度や所定外労働の制限利用時に感じた不安：複数回答



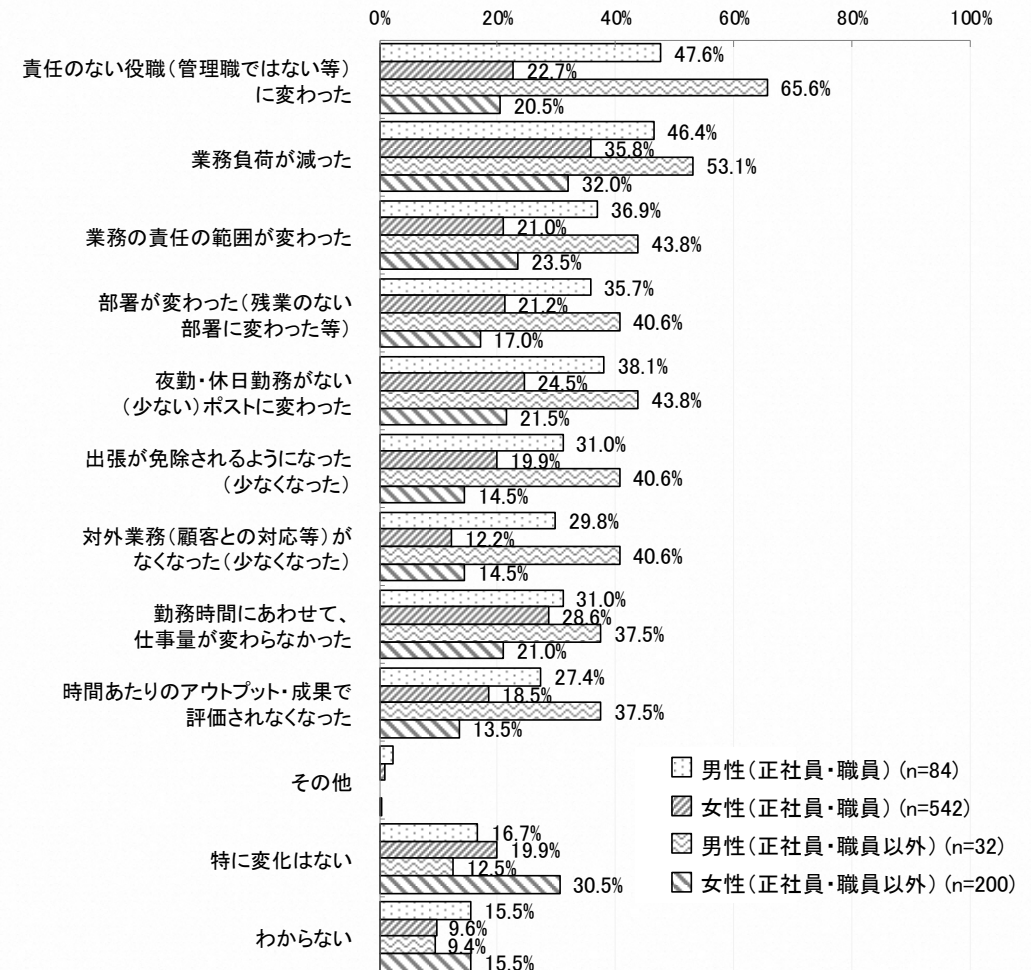
※両立支援制度の利用状況で、育児のための短時間勤務制度（図表15～18）、所定外労働の制限（残業を免除する制度）（図表15～18）のどちらかで、「1.現在利用している」「2.以前は利用していたが、現在は利用していない」のいずれかを選択した回答者を集計対象とする。

4. 両立支援制度の利用状況・現在の働き方・将来の働き方について

(15) 育児のための短時間勤務制度や所定外労働の制限利用後の働き方の変化

- ・ 育児のための短時間勤務制度や所定外労働の制限（残業を免除する制度）を利用している（利用していた）回答者について、制度を利用することで働き方が変わったかをみると、「男性（正社員・職員）」では「責任のない役職（管理職ではない等）に変わった」が47.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「業務負荷が減った」が46.4%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員）」では「業務負荷が減った」が35.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「勤務時間にあわせて、仕事量が変らなかった」が28.6%となっている。
- ・ 「男性（正社員・職員以外）」では「責任のない役職（管理職ではない等）に変わった」が65.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「業務負荷が減った」が53.1%となっている。
- ・ 「女性（正社員・職員以外）」では「業務負荷が減った」が32.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「特に変化はない」が30.5%となっている。

図表29 育児のための短時間勤務制度や所定外労働の制限利用後の働き方等の変化：複数回答

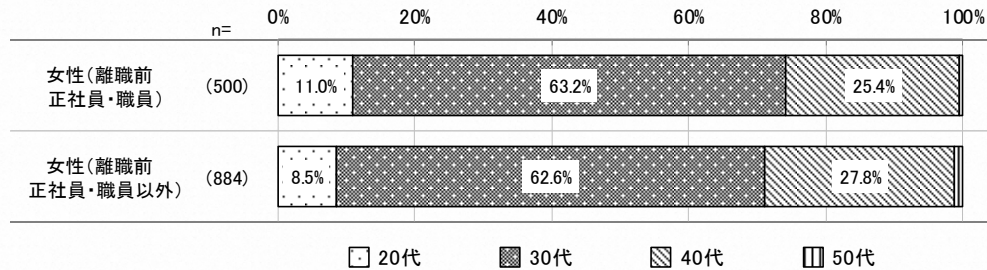


※両立支援制度の利用状況で、育児のための短時間勤務制度（図表15～18）、所定外労働の制限（残業を免除する制度）（図表15～18）のどちらかで、「1.現在利用している」「2.以前は利用していたが、現在は利用していない」のいずれかを選択した回答者を集計対象とする。

1. 回答者の概要及び仕事の状況

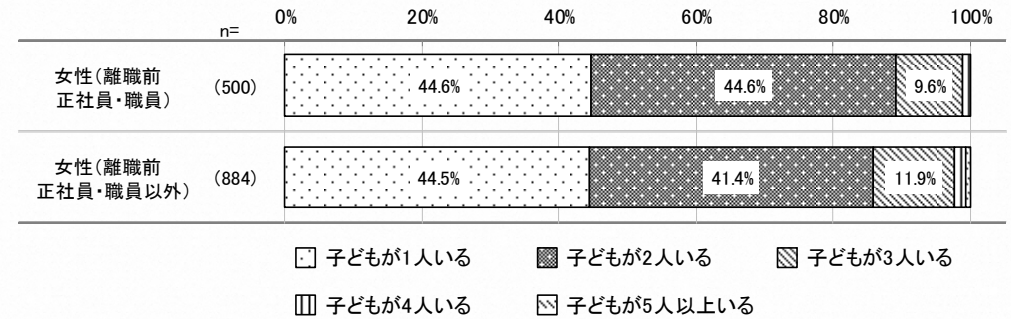
(1) 年齢

図表30 年齢：単数回答



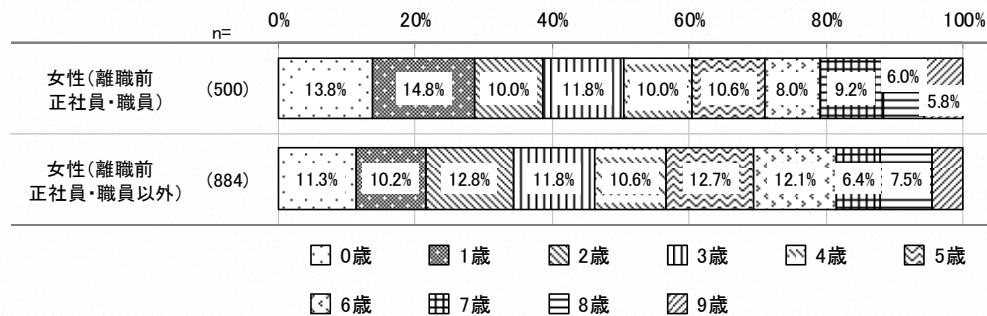
(2) 子どもの人数

図表31 子どもの人数：単数回答



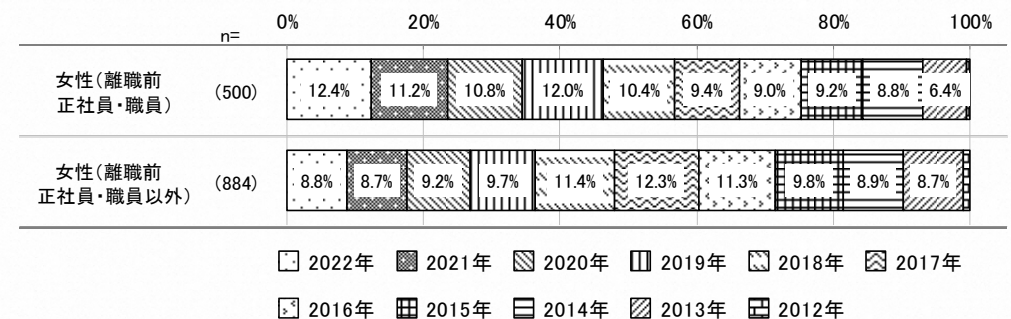
(3) 末子の年齢

図表32 末子の年齢：数字回答



(4) 妊娠・出産、子の育児等を理由とした離職時期

図表33 妊娠・出産、子の育児等を理由とした離職時期：数字回答



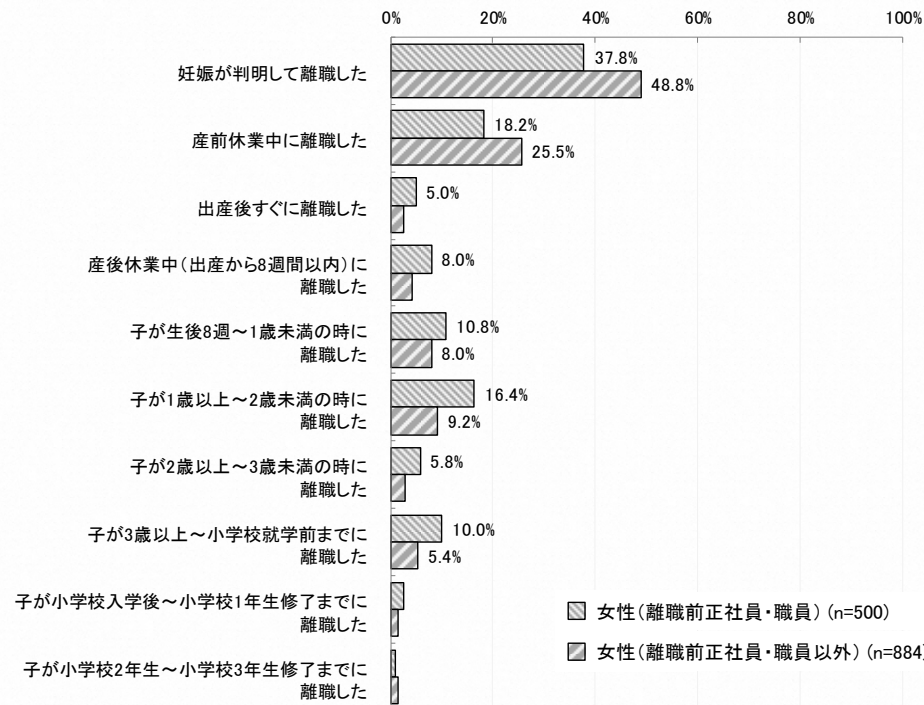
※本調査では、離職した年・月を聴取した。調査実施時点は2022年12月のため、各年は1月～12月までが含まれる。

1. 回答者の概要及び仕事の状況

(5) 約10年以内の妊娠・出産、子の育児等を理由とした離職時期

・約10年以内の妊娠・出産、子の育児等を理由とした離職時期をみると、いずれも「妊娠が判明して離職した」がもっとも回答割合が高く、「女性（離職前正社員・職員）」で37.8%、「女性（離職前正社員・職員以外）」で48.8%となっている。次いで「産前休業中に離職した」が、「女性（離職前正社員・職員）」で18.2%、「女性（離職前正社員・職員以外）」で25.5%となっている。

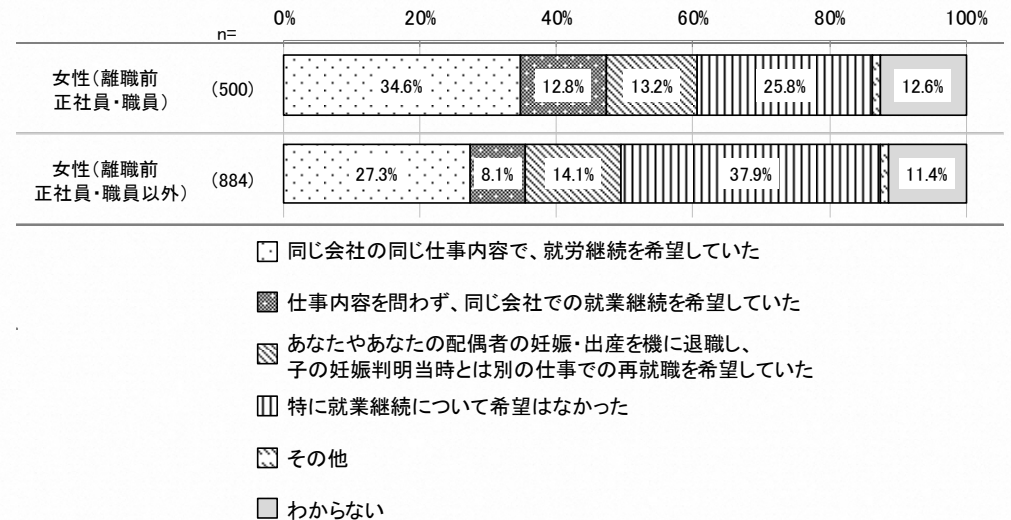
図表34 約10年以内の妊娠・出産、子の育児等を理由とした離職時期：複数回答



(6) 子の妊娠判明当時の就労継続希望

・子の妊娠がわかった当時に生まれてからも就業を継続したいと考えていたかをみると、「女性（離職前正社員・職員）」では「同じ会社の同じ仕事内容で、就労継続を希望していた」が34.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「特に就業継続について希望はなかった」が25.8%となっている。「女性（離職前正社員・職員以外）」では「特に就業継続について希望はなかった」が37.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「同じ会社の同じ仕事内容で、就労継続を希望していた」が27.3%となっている。

図表35 子の妊娠判明当時の就労継続希望：単数回答

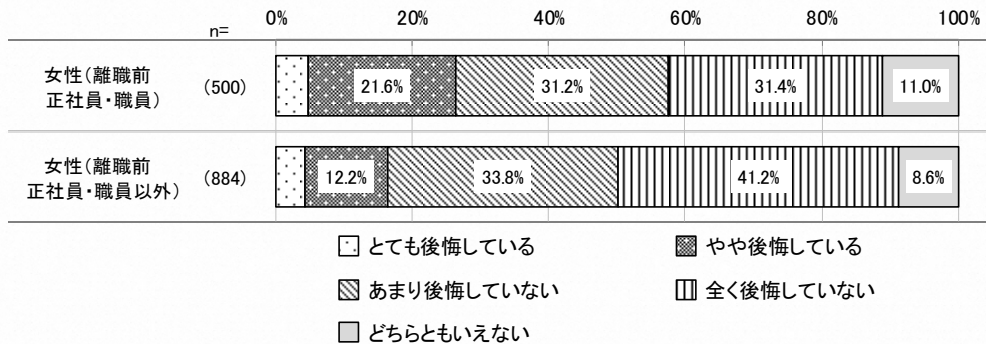


1. 回答者の概要及び仕事の状況

(7) 妊娠・出産・育児を機に離職したことの後悔の有無

・妊娠・出産・育児を機に仕事を辞めたことを後悔しているかをみると、いずれも6割以上が「後悔していない」と回答。「全く後悔していない」が最も高く、「女性（離職前正社員・職員）」で31.4%、「女性（離職前正社員・職員以外）」で41.2%となっている。次いで「あまり後悔していない」が「女性（離職前正社員・職員）」で31.2%、「女性（離職前正社員・職員以外）」で33.8%となっている。

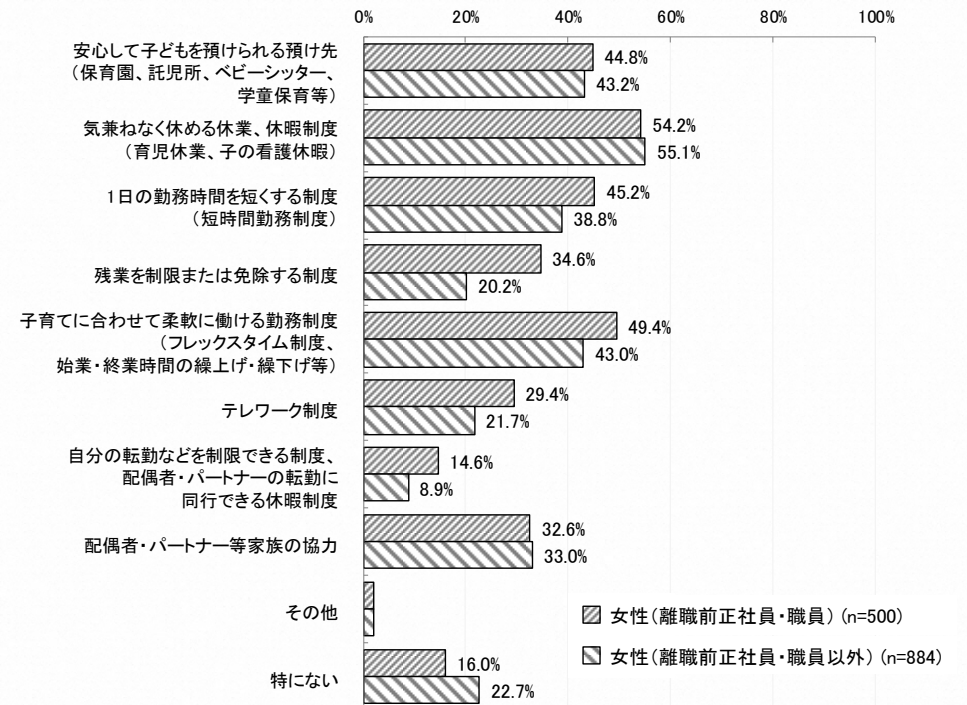
図表36 妊娠・出産・育児を機に離職したことの後悔の有無：単数回答



(8) 利用すれば仕事を続けられたと思う支援・サービス

・利用することができれば仕事を続けられたと思う支援・サービスをみると、いずれも「気兼ねなく休める休業、休暇制度（育児休業、子の看護休暇）」がもっとも回答割合が高く、「女性（離職前正社員・職員）」で54.2%、「女性（離職前正社員・職員以外）」で55.1%となっている。次いで、「女性（離職前正社員・職員）」では「子育てに合わせて柔軟に働ける勤務制度（フレックスタイム制度、始業・終業時間の繰上げ・繰下げ等）」が49.4%、「女性（離職前正社員・職員以外）」では「安心して子どもを預けられる預け先（保育園、託児所、学童保育等）」が43.2%となっている。

図表37 利用すれば仕事を続けられたと思う支援・サービス：複数回答

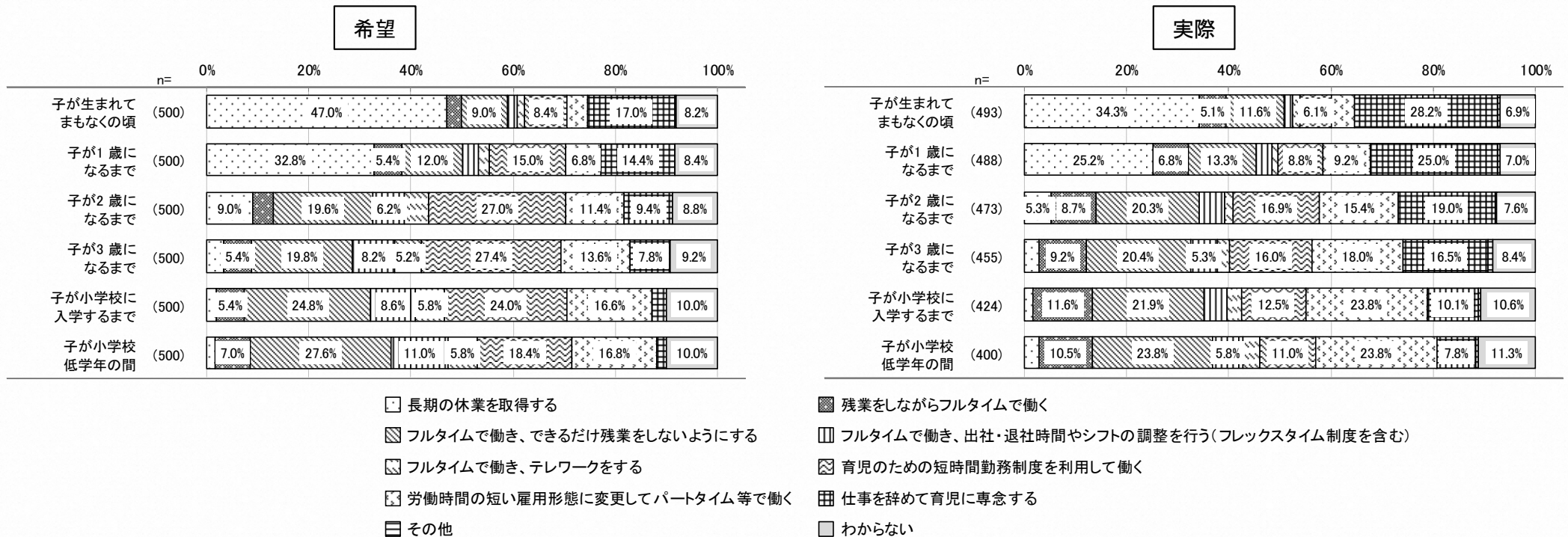


2. 仕事と育児の両立のあり方に関する希望と実際

(1) 子の年齢別にみた、離職当時の仕事と育児の両立のあり方＜女性（離職前正社員・職員）＞

- ・「女性（離職前正社員・職員）」について、離職当時の仕事と育児の両立のあり方の「希望」を通時的にみると、「子が生まれてまもなくの頃」から「子が1歳になるまで」は「長期の休業を取得する」がもっとも回答割合が高く、「子が2歳になるまで」から「子が3歳になるまで」は「育児のための短時間勤務制度を利用して働く」がもっとも回答割合が高くなっている。「子が小学校に入学するまで」から「子が小学校低学年の間」は「フルタイムで働き、できるだけ残業をしないようにする」がもっとも回答割合が高くなっている。
- ・「女性（離職前正社員・職員）」について、離職当時の仕事と育児の両立のあり方の「実際」を、子が該当年齢に達している方で通時的にみると、「子が生まれてまもなくの頃」から「子が1歳になるまで」は「長期の休業を取得する」がもっとも回答割合が高く、「子が2歳になるまで」から「子が3歳になるまで」は「フルタイムで働き、できるだけ残業をしないようにする」がもっとも回答割合が高くなっている。「子が小学校に入学するまで」は「労働時間の短い雇用形態に変更してパートタイム等で働く」がもっとも回答割合が高く、「子が小学校低学年の間」は「フルタイムで働き、できるだけ残業をしないようにする」「労働時間の短い雇用形態に変更してパートタイム等で働く」が同率でもっとも回答割合が高くなっている。

図表38 通時的にみた、離職当時の仕事と育児の両立のあり方の「希望」と「実際」＜女性（離職前正社員・職員）＞：単数回答



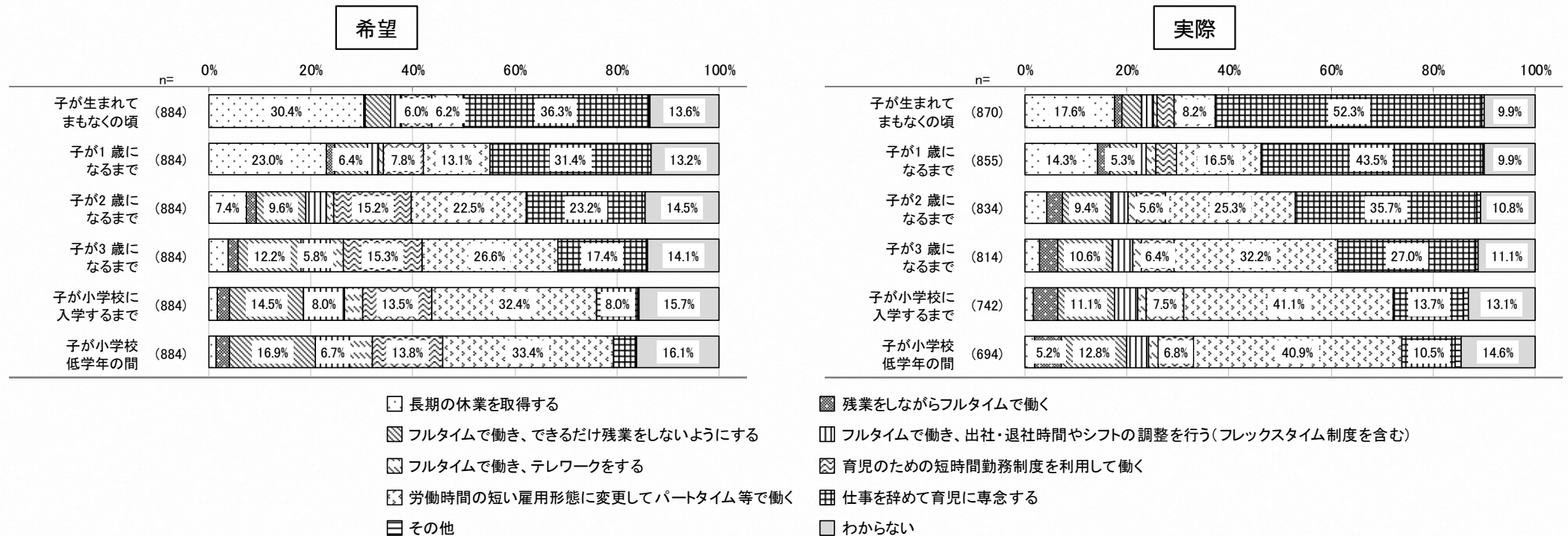
※本設問それぞれにおいて「11.離職した際に妊娠・出産・育児をしていた子がまだ選択肢の年齢に達していない」以外を選択した回答者を集計対象とする。

2. 仕事と育児の両立のあり方に関する希望と実際

(2) 子の年齢別にみた、離職当時の仕事と育児の両立のあり方＜女性（離職前正社員・職員以外）＞

- ・「女性（離職前正社員・職員以外）」について、離職当時の仕事と育児の両立のあり方の「希望」を通時的にみると、「子が生まれてまもなくの頃」から「子が2歳になるまで」は「仕事を辞めて育児に専念する」がもっとも回答割合が高く、「子が3歳になるまで」から「子が小学校低学年の間」は「労働時間の短い雇用形態に変更してパートタイム等で働く」がもっとも回答割合が高くなっている。
- ・「女性（離職前正社員・職員以外）」について、離職当時の仕事と育児の両立のあり方の「実際」を、子が該当年齢に達している方で通時的にみると、「子が生まれてまもなくの頃」から「子が2歳になるまで」は「仕事を辞めて育児に専念する」がもっとも回答割合が高く、「子が3歳になるまで」から「子が小学校低学年の間」は「労働時間の短い雇用形態に変更してパートタイム等で働く」がもっとも回答割合が高くなっている。

図表39 通時的にみた、離職当時の仕事と育児の両立のあり方の「希望」と「実際」＜女性（離職前正社員・職員以外）＞：単数回答



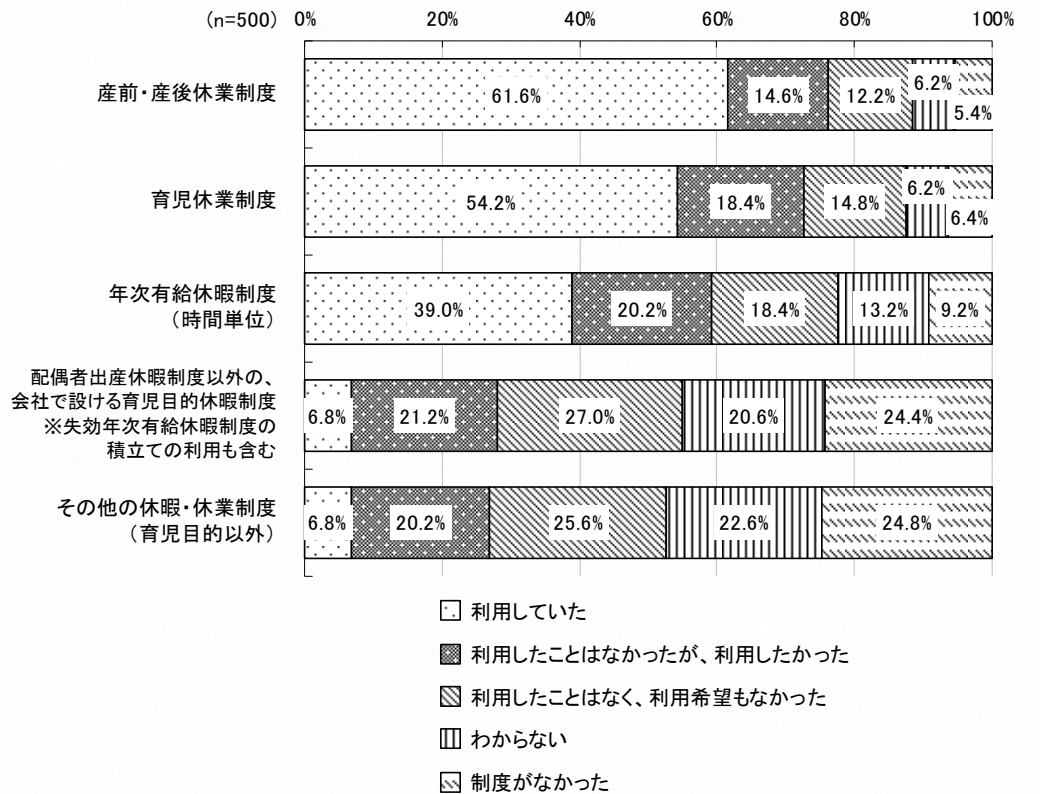
※本設問それぞれにおいて「11.離職した際に妊娠・出産・育児をしていた子がまだ選択肢の年齢に達していない」以外を選択した回答者を集計対象とする。

3. 育児のための休暇・休業について

(1) 離職当時の子に関して、休暇・休業制度利用状況<女性（離職前正社員・職員）>

- 産前・産後休業制度の利用状況をみると、「女性（離職前正社員・職員）」では「利用していた」が61.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用したことはなかったが、利用したかった」が14.6%となっている。
- 育児休業制度の利用状況をみると、「女性（離職前正社員・職員）」では「利用していた」が54.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用したことはなかったが、利用したかった」が18.4%となっている。
- 年次有給休暇制度（時間単位）の利用状況をみると、「女性（離職前正社員・職員）」では「利用していた」が39.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用したことはなかったが、利用したかった」が20.2%となっている。
- 配偶者出産休暇制度以外の、会社で設ける育児目的休暇制度の利用状況をみると、「女性（離職前正社員・職員）」では「利用したことはなく、利用希望もなかった」が27.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「制度がなかった」が24.4%となっている。
- その他の休暇・休業制度（育児目的以外）の利用状況をみると、「女性（離職前正社員・職員）」では「利用したことはなく、利用希望もなかった」が25.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「制度がなかった」が24.8%となっている。

図表40 離職当時の子に関して、休暇・休業制度の利用状況<女性（離職前正社員・職員）>

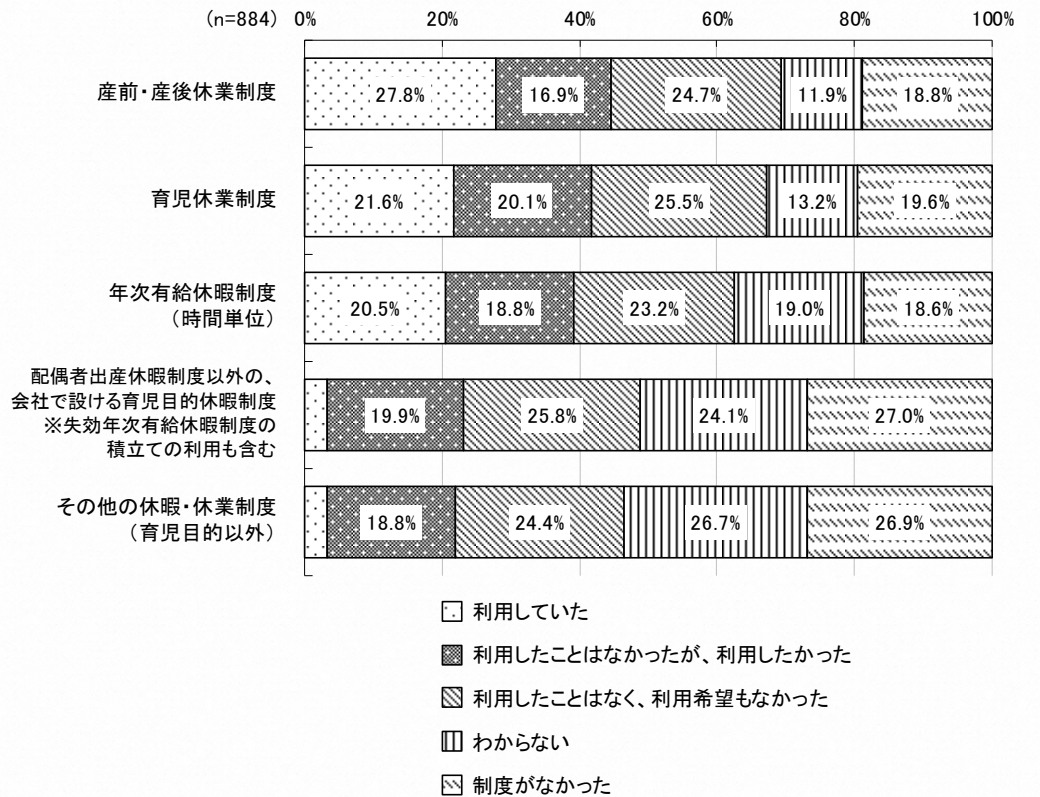


3. 育児のための休暇・休業について

(2) 離職当時の子に関して、休暇・休業制度利用状況<女性（離職前正社員・職員以外）>

- ・産前・産後休業制度の利用状況をみると、「女性（離職前正社員・職員以外）」では「利用していた」が27.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用したことはなく、利用希望もなかった」が24.7%となっている。
- ・育児休業制度の利用状況をみると、「女性（離職前正社員・職員以外）」では「利用したことはなく、利用希望もなかった」が25.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用していた」が21.6%となっている。
- ・年次有給休暇制度（時間単位）の利用状況をみると、「女性（離職前正社員・職員以外）」では「利用したことはなく、利用希望もなかった」が23.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用していた」が20.5%となっている。
- ・配偶者出産休暇制度以外の、会社で設ける育児目的休暇制度の利用状況をみると、「女性（離職前正社員・職員以外）」では「制度がなかった」が27.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用したことはなく、利用希望もなかった」が25.8%となっている。
- ・その他の休暇・休業制度（育児目的以外）の利用状況をみると、「女性（離職前正社員・職員以外）」では「制度がなかった」が26.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が26.7%となっている。

図表41 離職当時の子に関して、休暇・休業制度の利用状況<女性（離職前正社員・職員以外）>

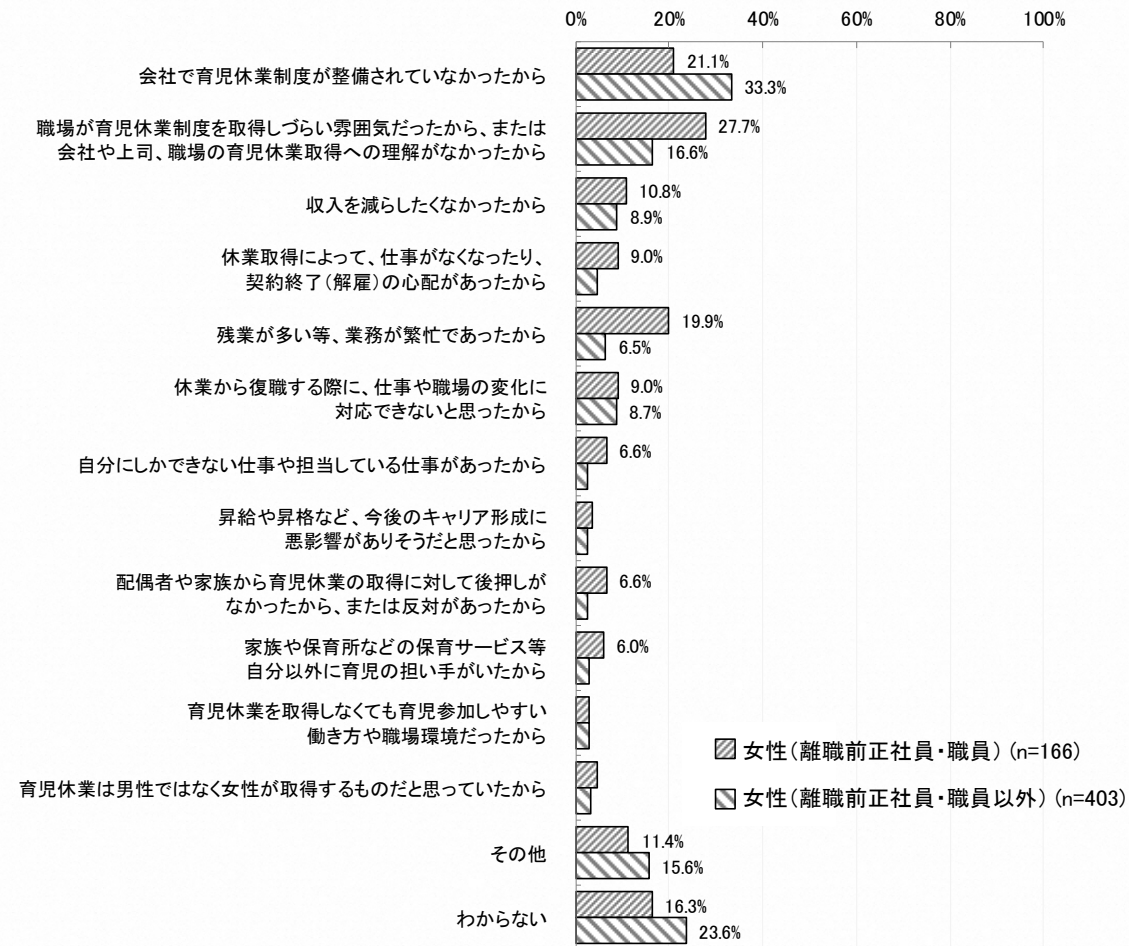


3. 育児のための休暇・休業について

(3) 離職当時の子に関して、育児休業制度を取得しなかった理由

- ・ 離職当時の子に関して育児休業制度を利用しなかった回答者について、取得しなかった理由をみると、「女性（離職前正社員・職員）」では「職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だったから、または会社や上司、職場の育児休業取得への理解がなかったから」が27.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「会社で育児休業制度が整備されていなかったから」が21.1%となっている。
- ・ 「女性（離職前正社員・職員以外）」では「会社で育児休業制度が整備されていなかったから」が33.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が23.6%となっている。

図表42 離職当時の子に関して、育児休業制度を取得しなかった理由：複数回答



※離職当時の子に関する育児休業の利用状況（図表40～41）において、「2.利用したことはなかったが、利用したかった」「3.利用したことはなく、利用希望もなかった」のいずれかを選択した回答者を集計対象とする。

